

步兵斥候歩哨勤務教練

168
498

狩
3



始



緒言

戦闘間何レノ場合ヲ論ゼズ危害ヲ豫防シ敵情ヲ報告スルハ斥候ノ任務ナリ故ニ斥候動作ノ其否ハ戰術上重大ノ關係ヲ有スルモノニシテ兵卒野外ノ獨立教練モ過半ハ斥候勤務ヲ目的トスルヤ宜ナリ然ルニ斥候ノ時機ニ應ズル動作ニ就キテハ從來參考ニ供スベキ書ニ乏シク下級幹部ニ於テ甲乙其説ヲ異ニシ教育ノ齊一ヲ缺ク等隔靴搔痒ノ感ナキ能ハズ此不備ヲ補ハシガ爲メ茲ニ斥候ニ關スル諸般ノ事ヲ集録シテ一書



トナス然レハ敵情ト地形トハ變化極リナキヲ以テ固
ヨリ之ヲ以テ其動作ヲ盡シ得タリト爲ス能ハズ唯一
般ノ例ヲ示シテ實施上ノ參考トナシ益々果斷活用ノ
智識ヲ増進セシメント欲ス且ツ卷末ニ步哨ノ動作ヲ
附シテ斥候トノ關係ヲ明ニシ兵卒ヲシテ搜索及ビ警
戒上其任務ヲ完カラシメント期スト云爾

明治三十年五月十日

編者 識

步兵斥候步哨勤務教練

目次

斥候

第一	通則……………	一	丁
第二	斥候ノ種類……………	二	丁
第三	斥候ノ任務……………	五	丁
第四	本隊ト斥候トノ關係……………	九	丁
第五	命令者ト斥候トノ關係……………	九	丁
第六	斥候長ト斥候トノ關係……………	十	丁

第七	斥候ト歩哨トノ關係……………	十四丁
第八	斥候ト刑法トノ關係……………	十五丁
第九	斥候ノ受クベキ任務ノ要目……………	十五丁
第十	斥候ノ具有スベキ性質……………	十九丁
第十一	斥候ノ動作……………	二十一丁
第十二	斥候ノ服裝……………	二十二丁
第十三	斥候ノ隊形及ビ距離間隔……………	二十三丁
第十四	斥候ノ連絡……………	二十八丁
第十五	斥候ノ歩度……………	三十丁

第十六	斥候ノ記號……………	三十一丁
第十七	斥候ノ搜索スベキ物件……………	三十二丁
第十八	斥候ノ報告……………	三十三丁
第十九	行軍長徑及ビ兵力測定法……………	四十三丁
第二十	徽候……………	四十五丁
第二十一	地形ノ識別……………	五十二丁
第二十二	方位ノ判定……………	六十一丁
第二十三	距離目測……………	六十六丁
第二十四	土人訊問法……………	七十一丁

第二十五	捕虜訊問法	七十三丁
第二十六	徒涉場ノ探知法及ビ渡河法	七十四丁
第二十七	斥候出發前ノ動作及ビ行進間ノ注意	八十一丁
第二十八	諸種ノ敵情及ビ地形ニ於ケル斥候ノ行進 及ビ搜索法	八十三丁
第二十九	斥候敵ニ對スル動作	百九丁
第三十	斥候ノ退却隊形及ビ動作	百二十五丁
第三十一	斥候夜間ノ動作	百二十八丁
第三十二	退却行ノ後衛斥候	百三十二丁

歩 哨

第三十三	戰鬪斥候	百二十三丁
第一	通則	百二十五丁
第二	前哨ノ任務	百二十五丁
第三	前哨ノ要旨	百二十六丁
第四	前哨ノ區分	百二十六丁
第五	前哨本隊	百二十七丁
第六	前哨中隊	百二十八丁
第七	小哨	百二十九丁

第八	獨立下士哨	百四十一丁
第九	下士哨	百四十二丁
第十	查哨	百四十三丁
第十一	步哨ノ守則	百四十三丁
第十二	步哨掛ノ任務及ビ動作	百五十丁
第十三	步哨ノ任務	百五十一丁
第十四	步哨ノ動作及ビ守地	百五十二丁
第十五	銃前哨ノ位置及ビ任務	百五十四丁
第十六	步哨ノ交代	百五十五丁

第十七	步哨ト斥候トノ關係	百五十六丁
第十八	步哨ト刑法トノ關係	百五十七丁
第十九	步哨ノ報告	百五十七丁
第二十	動哨	百五十九丁
第二十一	步哨ノ軍使ニ對スル處置	百六十丁
第二十二	步哨ノ降參兵ニ對スル處置	百六十一丁
第二十三	步哨ノ監視法	百六十三丁
第二十四	步哨ノ敵ニ對スル動作	百六十三丁
第二十五	問查法	百六十七丁

第二十六 巡察……………百七十了

第二十七 小哨及ビ獨立下士哨ノ又銃法……………百七十二了

第二十八 小哨休憩中兵卒ノ動作……………百七十六了

第二十九 小哨ニアル故參幹部及ビ下士哨長ノ任務

上注意……………百七十七了

第三十 一大隊ヲ前哨ニ充テタル步兵聯隊ノ駐軍

圖解……………百八十了

目次終

歩兵斥候歩哨勤務教練

斥候

第一 通則

斥候ハ軍ノ耳目ニテ其動作ノ良否ハ實ニ全軍勝敗ノ岐ル、處ナレバ任務重大ニシテ輕忽ニスベカラザルハ敢テ多言ヲ要セザルナリ而テ此任務ハ多ク騎兵ノ爲ス處ナレ夜間又ハ險難ナル地形又ハ騎兵ノ不在ニ當リテハ全ク之ヲ步兵ニ依頼セザルベカラズ況ンヤ敵軍接近シテ騎兵ヲ使用シ得ルノ餘地ナキニ際シテハ

全軍ノ安危一ニ懸リテ歩兵斥候ニアリ豈慎マザル可ケンヤ
凡ソ斥候ハ目的ヲ達セシカ又ハ情況變化シテ其必要ナシト認メ
シ時ハ速ニ上官ノ許ニ歸還スベシ決シテ無用ノ戦闘ヲ開始シ任
務ヲ誤ルベカラズ

斥候ハ兵卒ノ最上名譽ナル任務ナリ何トナレバ兵卒ニシテ拔群
ノ功績ヲ著ハシ得ベキ好機ナレバナリ

第二 斥候ノ種類

斥候ノ要ハ敵ニ發見セラレズシテ敵ヲ搜索スルニアレバ成ルベ
ク人員ノ僅少ナルヲ要ス然レモ其任務ヲ完フセンガ爲メニハ幾

多ノ障碍ヲ排シ隨時ノ報告ヲ怠ルベカラザルヲ以テ又相當ノ兵
力ヲ必要トス故ニ情況ト任務トニ從ヒテ左ノ區分ヲナス而テ普
通敵方ニ派遣スル斥候ノ兵力ハ三名ヲ降ルコトナシ

イ 將校斥候

ロ 下士斥候

ハ 斥候(上等兵若クハ他ノ撰拔兵ヲ以テ長タラシムルモノ)

イ 將校斥候

將校ノ指揮スル撰拔シタル斥候ニシテ時トシテハ其兵力約一分
隊ヲ超ユルコトアリ重大ナル任務ヲ帶ビ遠ク敵方ニ派遣スル時ニ

編成スルモノニシテ其動作ノ要領ハ普通ノ斥候ト異ナルヲナシ

ロ 下士斥候

將校斥候ニ次グベキ斥候ニシテ下士之ヲ指揮ス其兵力ハ普通四五名ナレトシテハ之ヨリ大ナルヲアリ其動作ノ要領ハ普通ノ斥候ト異ナルヲナシ

ハ 斥候

普通ノ斥候ハ撰拔シタル三名ノ兵卒ヨリ成ル概シテ内一名ノ上等兵ヲ斥候長トナセトシテハ他ノ撰拔兵ヲ以テ之ニ充ツル

トアリ其動作ニ依リ左ノ四種ニ区分シ任務上各多少ノ差異ナキニアラザルモ一般ノ任務トシテハ詳ニ敵情又ハ地形ヲ搜索シ我軍ノ安全ヲ計ルニアリ

イ 行軍間ノ斥候

ロ 駐軍間ノ斥候

ハ 停止斥候

ニ 戦闘斥候

第三 斥候ノ任務

イ 行軍間ノ斥候ノ任務

行軍間ノ斥候ヲ分チテ側斥候及ビ路上斥候ノ二トス側斥候ハ行軍道路ノ側方ヲ搜索スルモノニシテ其左右ニヨリ右側斥候、左側斥候ノ名アリ常ニ行進路ノ側方ニ出デ尖兵ト連絡ヲ保タザル可ラザレバ各種斥候中最モ困難ナル任務トス而テ其行進ハ勉メテ深キ横行ノ運動ヲ避ケ成ルベク斜行ノ運動ヲ以テ行進路ノ側方ヲ搜索シ十分綿密且ツ神速ナラザルベカラズ何トナレバ危険ハ常ニ側方ニ存スレバナリ其最モ深ク注意スベキハ蔭蔽地、岐路、曲折路等ニ於テ知ラズ識ラズ本隊ノ行進方向ニ外ルルコトアリ爲メニ甚シキ困難ニ陥ルノミナラズ往々斥候タルノ任務ヲ欠

クコアルニ至ルベシ

路上斥候ハ即チ尖兵ニシテ常ニ道路上ニアリ軍隊密集シテ行進スル所ハ其前方約五十米突ノ所ニアリテ路上ノ情況ニ注意シ後方ヨリ行進スル部隊ヲシテ不意ノ敵襲又ハ障礙ヲ蒙ラザラシムルヲ以テ任務トス

ロ 駐軍間ノ斥候ノ任務

駐軍斥候ハ軍隊宿營セシ所派遣スルモノニシテ行軍間ノ斥候ト異ル點ハ本隊行進セザルコト搜索時間ノ餘裕アルコトナス故ニ時トシテハ長ク敵地ニ留ルコトアリ廣ク敵情ヲ搜索シテ神速ナル

報告ヲナシ歩哨ト相待チテ本隊ヲ警戒スルヲ以テ任務トス

ハ 停止斥候ノ任務

停止斥候ハ行軍縱隊ノ側方又ハ停止シタル本隊ノ前面側方等ノ要地ニ一時停止シテ敵方ヲ監視シ不意ノ危害ヲ豫防スルヲ以テ任務トス故ニ監視中ハ殆ンド歩哨ト一樣ノ動作ヲナスモノナリ

ニ 戦闘斥候ノ任務

戦闘斥候ハ戦闘間危殆ナル側方ニ派遣スルモノニシテ常ニ散兵線ト進退ヲ共ニシ敵ノ斥候ヲ撃退シ敵ノ運動ヲ發見シテ速ニ本隊ニ報告スルヲ以テ任務トス

第四 本隊ト斥候トノ關係

本隊ト斥候トノ關係ハ斥候ノ種類ニヨリテ多少ノ差異アリト雖何レノ場合ニ於テモ斥候ハ速ニ敵ヲ發見シテ不意ノ敵襲ヲ豫防シ本隊ノ安全ヲ計ルコトニ就キテ身ヲ以テ其責ニ任ゼザルベカラズ故ニ斥候ハ本隊ノ安危ヲ一身ニ負フト云フモ決シテ過言ニ非ザルナリ

第五 命令者ト斥候トノ關係

斥候ハ時機ヲ誤ラズ完全ナル報告ヲ命令者ニ送達スルヲ以テ最大ノ義務トナス而テ如何ナル方法手段ヲ以テ其任務ヲ完クスベ

キカハ一ニ斥候各自ノ能力ニアリ故ニ苟モ身ヲ軍籍ニ置ク者ハ
平時ノ教練ニヨリテ完全ナル活動力ヲ養成スルヲ忽ニスベカ
ラズ然レモ命令者ノ任務ヲ與フルニ當リテモ亦深ク斥候ノ技倆
ヲ鑑ミザルベカラズ斥候ノ力ニ適セザル任務ヲ與ヘテ効果ヲ得
ンヲ望ムハ其罪實ニ命令者ニアリ故ニ命令者ハ斥候ノ技倆ニ
應ジ時トシテハ實施上ノ注意ヲ與フルヲ必要ナリ又行軍中ニア
リテハ命令者ハ斥候ヲ派遣スベキ地點ニ達セザル前ニ任務ヲ與
ヘ終ラザルベカラズ

第六 斥候長ト斥候トノ關係

斥候長ハ與ヘラレタル任務ヲ部下ノ斥候ニ訓示ス是レ萬一自己
敵ノ爲メニ斃サル、モ猶ホ部下ノ斥候ヲシテ任務ヲ完クセシメ
ザルベカラザレバナリ抑モ斥候ハ斥候長ノ指揮ニヨリテ動作ス
ルモノト言ハンヨリハ寧ロ斥候長ノ隨行員トシテ之ヲ補助スル
モノト云フテ適當ナリトス何トナレバ斥候ハ成ルベク人員ノ寡
少ナルヲ要スレモ今假ニ斥候チ一人ト定メンカ萬一自己敵ノ爲
メニ斃サルレバ之ヲ本隊ニ報告スル者ナク又必要ナル報告ヲナ
サント欲スレバ止ムヲ得ズ敵ト觸接ヲ絶タザルベカラズ此不便
ヲ避ケンガ爲メ斥候長ニ附スルニ二人ノ報告兵ヲ以テスルナリ

而テ此二人ノ者ハ雷ニ報告ヲ爲スノミナラズ常ニ斥候長ト連絡
 チ取り其搜索ヲ補助スルノ義務ヲ有ス若シ此二人ニシテ活動チ
 失ヒ其動作ノ細部マデ一々斥候長ノ指揮チ仰グガ如キニ至リテ
 ハ斥候長ヲシテ専心搜索ニ從事セシムル能ハズ從ヒテ其目的ヲ
 誤ラシムルニ至ルベシ斥候長モ亦報告兵ノ動作チ一々指揮スル
 ガ如キハ自己ノ任務ヲ顧ミザルモノト云ハザルベカラズ何トナ
 レバ自己専心搜索シ猶ホ多少隔タリテ行進スル二人ノ動作チ一
 々規定スルコトハ實際上決シテ爲シ能ハザルコトナレバナリ斥候長
 ト斥候トノ關係ハ此ノ如クナレバ斥候ハ常ニ斥候長ノ進退ニ從

ヒテ動作スルヲ要ス又斥候長ハ常ニ危殆ノ方向ニアリテ行進シ
 敵ニ就キテ怪ムベキコトアルカ又ハ危殆ナル地點ニ侵入スル片ニ
 ハ自己率先之ニ衝リ二人ノ斥候ハ單ニ報告ヲナサシムルニ過ギ
 ザルベシ而テ二人ノ斥候ハ若シ斥候長危險ノ場合ニ際シテハ之
 チ援助スルノ準備ヲナスベキモノトス又報告ヲナスベキ場合ニ
 ハ斥候長ハ斥候ノ一人ヲ歸還セシムルヲ常トスレモ敵中ニアリ
 テ大切ナル報告ヲナスベキ場合ニハ二人ヲ各別ナル道路ヨリ歸
 還セシムルコトアリ而テ何レノ地點ニ於テ再ビ自己ト會合スベキ
 ヤ否ヤヲ命ズベシ

第七 斥候ト歩哨トノ關係

歩哨ハ我軍ヲ警戒シ斥候ハ敵情ヲ搜索シ二者相待チテ我軍安全ナルヲ得ルナリ凡ソ軍隊ニアリテハ百事皆協同動作ニヨリテ始メテ效果ヲ收ムルヲ得ベシ歩哨ト斥候トノ關係モ亦コレニ外ナラズ故ニ斥候ノ歩哨線ヲ通過スルヤ先ヅ歩哨ニ自己ノ任務ヲ語リテ敵情ヲ尋問ス歩哨ハ之ニ對シ其見聞セシトヲ告ゲ必要ナル注意ヲ與フルノ義務ヲ有ス而テ斥候ノ歸還スルヤ又歩哨ニ自己ガ探見シタル大要ヲ語り協心同力各自ノ任務ヲ盡サザルベカラズ

第八 斥候ト刑法トノ關係

前述ノ如ク斥候ハ名譽ノ職ニシテ任務ノ重大ナル他ニ其比ヲ見ズ故ニ萬一任務ヲ怠リ又ハ詐偽ノ報告ヲナセシハ左ノ嚴罰ヲ蒙ラザルベカラズ曰ク軍人斥候偵察ノ命ヲ受ケ詐偽ノ報告ヲ爲シ若シクハ傳令使命令ヲ詐リ傳フル者ハ五月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第九 斥候ノ受クベキ任務ノ要目

イ 行軍間ノ側斥候

一 搜索スヘキ土地又ハ搜索スベキ地域地點及ビ時トシテハ之ニ

達スル道路

一本道上本隊ニ合スベキ地點

一敵情又ハ動作上ニ關スル特別注意

例、第一斥候ハ此前方約三百米突ノ三叉路ヲ右ニ行進シ鬼子
母神ヲ經テ雜司ヶ谷村ヲ搜索シ其北端ニ於テ本隊ニ合スベ
シ

ロ 行軍間ノ路上斥候

一本隊ノ目的地及ビ之ニ向ヒ行進スベキ道路
一敵情

例、本隊ハ金井窪村ニ向ヒ行進ス路上斥候ハ此道ヨリ高田村

及ビ池袋村ヲ經テ金井窪村ニ行進スベシ

敵ノ騎兵斥候ハ既ニ我ガ前面約一里ノ池袋村附近ニ出沒ス

ハ 停止斥候

一搜索スベキ地域

一停止スベキ地點

一監視スベキ敵方及ビ敵情

一報告スベキ本隊ノ位置

一時トシテハ歸還スベキ時間

例、第三斥候ハ下落合村ヲ搜索シ其西端ニ停止シテ江古田村
方向ヲ監視スベシ中隊ハ目白停車場附近ニアリ午後五時歸
還スベシ

ニ 駐軍斥候

- 一 搜索スベキ地域地點
- 一 之ニ達スベキ道路及ビ通過スベキ歩哨
- 一 歸還スベキ道路及ビ通過スベキ歩哨
- 一 敵情又ハ動作上ニ關スル特別注意
- 一 搜索時間

例、第一斥候ハ第一榎哨ヨリ池袋村ヲ經テ中丸村ヲ搜索シ新
井村ヲ經テ第三下士哨ノ位置ヨリ午後七時半迄ニ歸還スベ
シ

斥候ハ常ニ右ノ任務ヲ受クベキモノナレバ項中不明ノ件アル片
ハ直チニ命令者ニ對シ反問スルコトヲ要ス

第十 斥候ノ具有スベキ性質

斥候ハ一身ヲ犠牲トシ未知ノ地又ハ敵中ニ入りテ能ク任務ヲ完
クスルノ責任ヲ有スレバ其性質、慧敏熱心沈着剛膽ノ四ヲ具備
セザルベカラス

一 慧敏トハ事物ニ對シテ極メテ敏ク僅微ノ微候ニ依リテ有益ナル敵情ヲ判定シ又ハ未知ノ地ニ入りテ能ク地形方位等ヲ察知シ得ルガ如キヲ云フ

一 熱心トハ熱心搜索ニ從事シ久シキニ渉ルモ能ク之ニ堪ユルヲ云フ

一 沈着トハ不意ノ危難ニ遭遇スルモ驚カズ沈着事ヲ處シ任務ヲ完クシ得ルヲ云フ

一 剛膽トハ如何ナル危險ニ際會スルモ從容トシテ恐レズ深ク敵中ニ入りテ目的ヲ達スルガ如キヲ云フ

以上四ノ性質ハ實ニ斥候ノ勤務上一モ缺クベカラザルモノナレ
 斥中ニ就キテ剛膽ヲ最モ重シトス何トナレバ若シ斥候ニシテ剛
 膽ナラザランカ其身危險ノ地ニ在リテ何ゾ能ク沈着スルヲ得ン
 ヤ既ニ沈着ヲ失ス何ゾ身ヲ泰山ノ安キニ比シテ熱心搜索ニ從事
 スルヲ得ンヤ沈着ナラズ熱心ナラズ何ゾ事物ニ對シテ慧敏ナ
 ルヲ得ンヤ五尺ノ小身總ベテ是レ膽トハ斥候タル者ノ缺クベカ
 ラザル資格ナリ

第十一 斥候ノ動作

斥候ハ成ルベク廣ク敵情ヲ搜索シテ必要ナル報告ヲ怠ラズ本隊

チシテ不意ノ危害ヲ蒙ラザラシムルヲ以テ任務トス故ニ其動作ハ敵情任務及ビ地形ニヨリテ千差萬別ナリト雖凡一般ノ原則トシテハ敵ニ發見セラレズシテ敵ヲ搜索シ機ニ臨ミ變ニ應ジテ膽カト果斷トチ以テ能ク其任務ヲ盡スベキモノトス古語ニ所謂虎穴ニ入ラズンバ虎兒ヲ得ズトハ斥候ノ常ニ服膺スベキ金言ナリ

第十二 斥候ノ服裝

斥候ハ身體ノ輕捷ヲ要ス故ニ事情ノ許ス限ハ任務上必要ナル武器ノミヲ携ヘ背囊等ヲ脱スルヲ良トス又時機ニヨリテハ特別ノ

服裝ヲナスヲ便トスルコトアリ然レモ斥候ノ要ハ人ニアリテ服裝ニ非ザルナリ

第十三 斥候ノ隊形及ビ距離間隔

斥候ノ隊形ハ地形ニヨリテ或ハ左右ニ一線トナリ或ハ前後ニ一線トナリ又ハ三角形ヲナスコトアリ而テ斥候長ハ常ニ敵ニ近ク且ツ危殆ナル方面ニアルモノトス然レモ何レノ場合ニハ如何ナル隊形ヲ取ルベキカハ豫メ確定シ置クベキモノニ非ズ又斥候相互ノ距離間隔ハ廣ク搜索シ得ルコト同時ニ敵ノ射撃ヲ蒙ラザルコトニ就キテハ成ルベク遠ク隔タルヲ良トスレモ相互ノ連絡ヲ確

實ナラシムルコト不意ノ危害ニ際シテ相赴援シ得ルコトニ就キ
 テハ成ルベク接近スルヲ便利トス故ニ距離間隔ハ晝夜ノ別、天
 候、敵情、地形等ニヨリ隨時一様ナラザルモノナレモ普通ノ場
 合ニ於テハ百米突ヲ超ユルコトナク概シテ四五十米突ヲ通規トス
 一、第一圖ノ場合ニハ甲ハ斥候長ノ左方ヲ警戒搜索シ乙ハ斥候
 長ト甲トノ背後及ビ兩側ヲ警戒搜索ス
 一、第二圖ノ場合ニハ甲乙ハ互ニ斥候長ノ背後及ビ兩側ヲ警戒
 搜索ス

一、第三圖及ビ第六圖ノ場合ニハ甲ハ斥候長及乙ノ側面ヲ警戒

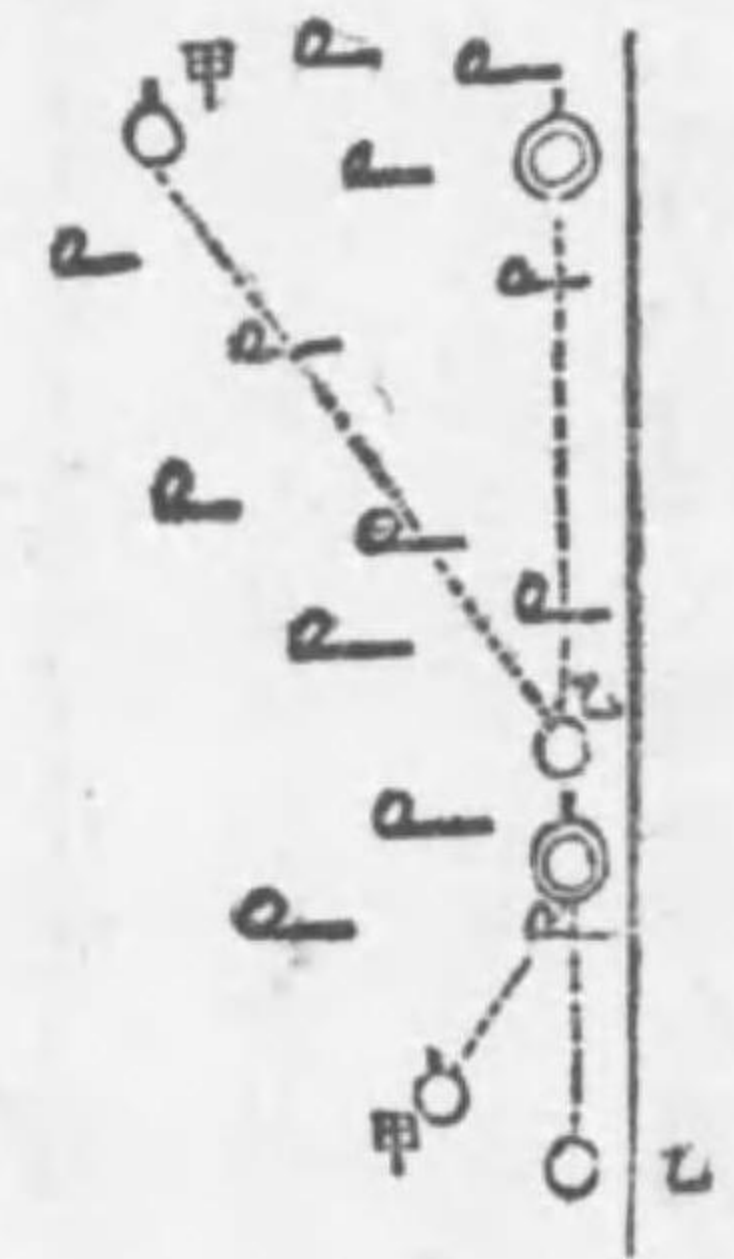
搜索シ乙ハ斥候長ノ背後ヲ警戒搜索ス

一、第四圖ノ場合ニハ甲乙ハ斥候長ノ兩側ヲ警戒搜索ス

一、第五圖ノ場合ニハ甲乙ハ斥候長ノ背後及ビ兩側ヲ警戒搜索
 ス

然レモ斥候長其位置ニノミ拘泥シテ搜索ノ目的ヲ誤ルガ如キハ
 大ナル誤謬トス故ニ斥候長必要ト認ムレバ或ハ后方ニ在テ行進
 スルコトモアルベク中央又ハ側方ニ在テ行進スルコトモアルベシ要
 スルニ視察ハ目的ニシテ隊形位置ハ之ヲ達スル手段ニ過ギザル
 ナリ

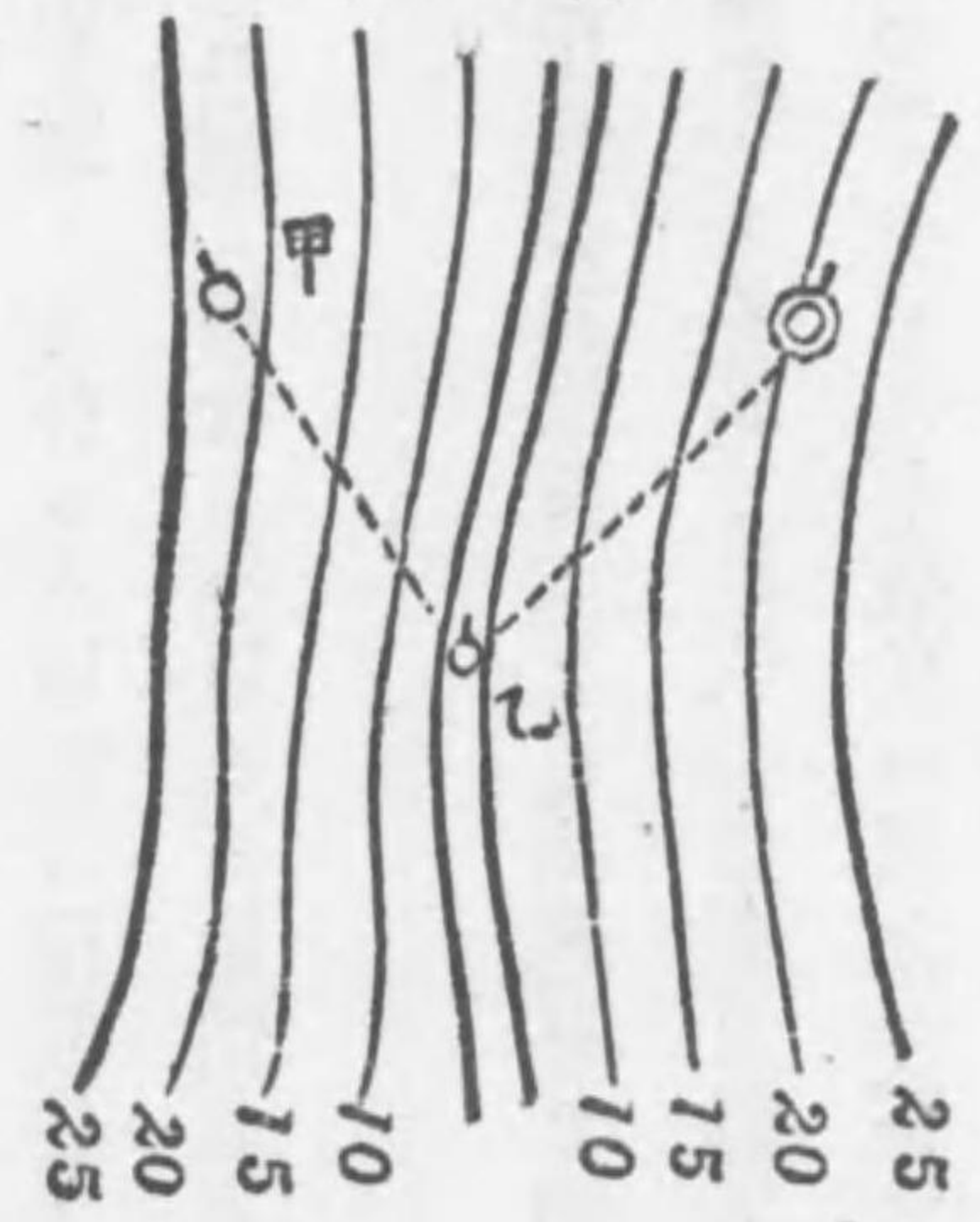
圖三第
例一ルス索搜ヲ地澗関リヨ林森



圖四第
例一ノ進行林森小

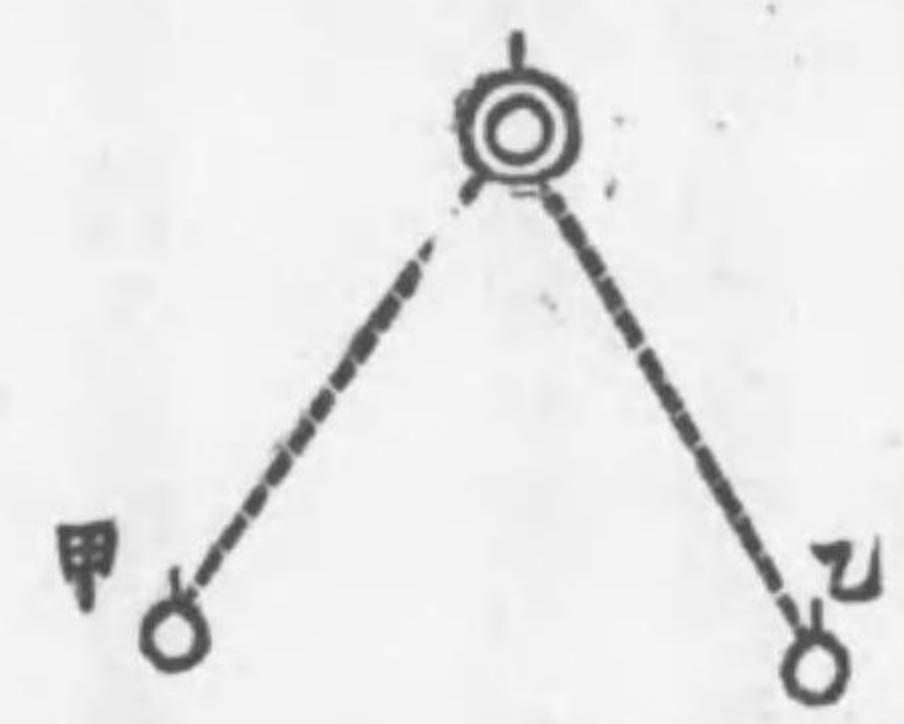


圖一第
例一ノ進行地凹



◎ハ斥候長ナリ

圖二第
例一ノ進行地澗開



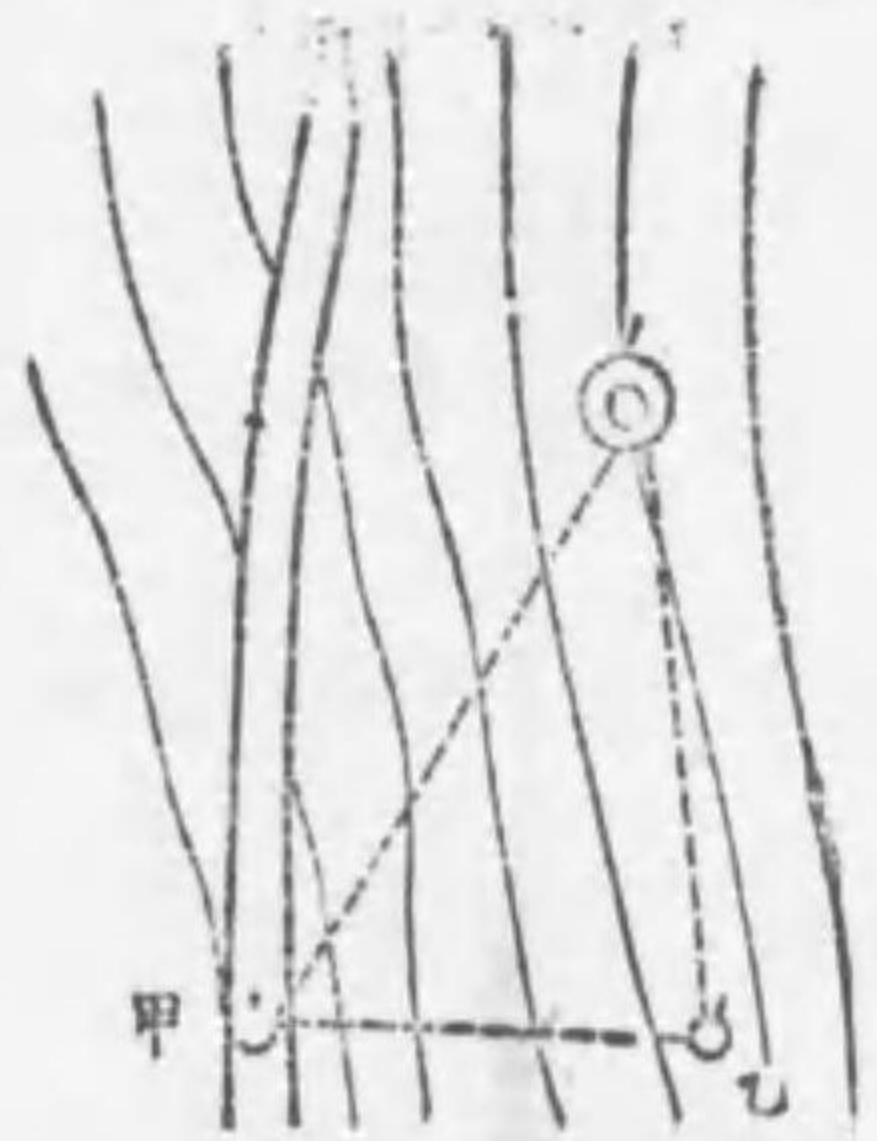
長隘路又ハ縦長ナル
凹地行進ノ一例

第六圖

第五圖



例一ノ進行面斜



第十四 斥候ノ連絡

斥候ノ進退及ビ距離間隔ハ斥候長ヲ基準トシ常ニ連絡ヲ保タザルベカラズ其方法ハ晝夜ノ別及ビ地形ニ依リテ一樣ナラズト雖

斥最モ確實ナルハ相互ノ目視ニ若クモノナシ然レモ地形ハ常ニ開濶地ノミニ非ズ且ツ斥候ハ殊更ニ蔭蔽地ヲ利用スルモノナレバ目視ヲ以テ連絡シ得ベキ場合ハ實ニ例外トシテ可ナリ況ンヤ暗夜ニ於テハ開濶地ト雖モ此連絡法ハ頼ムベカラザルニアラズヤ故ニ斥候ハ常ニ耳ヲ以テ連絡スルトニ熟セザルベカラズ即チ斥候相互ノ時々發スル音響、殊ニ叢林中ニアリテハ樹枝ヲ折ルノ音等ニヨルベキナリ而テ樹枝ヲ折ルトハ前路ヲ退却スルニ當リ退路ヲ指示スルノ好目標トナルコトアリ
本隊トノ連絡ハ斥候ノ一人地物ヲ利用シテ時々本隊又ハ路上斥

三十一
候ヲ目撃スルコトニヨリテ達シ得ラルベシ時トシテハ本隊ノ行進
スル車聲塵埃等ニヨリテ連絡ヲ保チ得ルコトアリ

第十五 斥候ノ歩度

斥候ハ早ク敵ヲ搜索シ機ニ先チテ報告ヲ爲スベキモノナレバ歩
度ノ快速ヲ要スルコト勿論ナリ行軍間ノ側斥候ハ常ニ本隊ニ先チ
テ敵ヲ搜索スベキモノナレバ殊ニ然リトス故ニ開濶地ヲ通過ス
ル片又ハ地物ニ移ル片ノ如キハ駈歩ヲナスヲ常トス是レ成ルベ
ク敵ニ見ラルハノ時間ヲ減少シ且ツ隱蔽地ニ於ケル搜索時間ノ
餘裕ヲ貯ヘンガ爲メナリ森林村落等_左隱蔽地ニアリテハ概シテ

速歩ノ速度ヲ用ユレバ駐軍斥候ノ如キハ往々一時地物ノ後方ニ
停止スルコトアリ又行軍間ノ側斥候ノ如キハ本隊絶エズ行進ヲ續
行スルガ故ニ時トシテハ駈歩ヲ以テ搜索セザルベカラザルコトア
リ要スルニ歩度ノ規定ハ敵情及ビ地形ニヨリ隨時異ルモノトス

第十六 斥候ノ記號

斥候ノ動作ハ靜肅ヲ專一トスレバ斥候相互ノ通知ハ一定ノ記號
ニ依ルヲ便利トス故ニ各隊ニ於テハ平時ヨリ記號ヲ一定セリ其
要ハ簡易ニシテ認知シ易ク誤解ノ憂ナキニアリ左ニ一例ヲ舉グ
手又ハ銃ヲ垂直ニ上グレバ 前進セヨ

手又ハ銃ヲ垂直ニ上下スルハ 停止セヨ

手又ハ銃ニテ帽ヲ舉グレバ 敵兵發見セリ

手ニテ招クハ 來レ

手ヲ下方ニ壓スルハ 伏セ

記號ハ受クベキ者ニ於テ認知スル迄行フベキモノトス

第十七 斥候ノ搜索スベキ物件

斥候ハ直接敵ヲ搜索スルノミナラズ總テ疑ハシキ徵候ニ注意シ
時トシテハ地形ヲ探見シ又ハ嚮導ノ任ニ堪ヘザルベカラズ而テ
敵ノ搜索ニ就キテハ啗ニ敵情ヲ悉スノミナラズ併セテ地面ヲモ

注意セザルベカラズ殊ニ防禦セル敵ノ陣地ニ接近スルルハ又ハ退
却スル敵ヲ追跡スルルハ於テ然リトス何トナレバ防禦陣地ノ前
面ニハ若干ノ副防禦即チ鹿柴地雷等ヲ設置スルヲ常トシ退却ス
ル敵兵ハ概シテ道路橋梁等ニ破壊ノ準備ヲナシ置ケバナリ
土民ノ言ヲ聞キ又ハ新聞紙、信書、電信其他役場警察署郵便局
電信局等ニアル書類ヲ奪取スルルハ主要ノ事件ヲ探知シ得ラル
、トアリ捕虜及ビ遺棄シタル傷者ノ言モ亦搜索上種々ノ端緒ト
ナルモノナリ

第十八 斥候ノ報告

斥候ノ價值ハ時機ヲ失セザル報告ニアリ故ニ其報告ハ巧遅ナラ
 シヨリハ寧ロ拙速ヲ尊ブ蓋シ完全ナル報告モ時機ヲ失スレハ啻
 ニ徒勞ニ屬スルノミナラズ時トシテハ本隊ヲシテ不慮ノ危害ニ
 陷ラシムルコトアレバナリ報告ヲ別チテ筆記報告及ビ口頭報告ノ
 ニトス而テ兵卒ノ報告ハ概シテ口頭報告ナリ筆記報告ノ記載法
 ハ野外要務令ニ詳ナルヲ以テ茲ニ省畧ス

口頭報告ハ簡單明瞭且ツ確實ナルヲ尊ブ故ニ步兵隊ニ於テハ豫
 メ充分ナル報告ノ練習ヲナスベシ蓋シ斥候動作ハ如何ニ完全ナ
 ルモ報告ノ方法不完全ナルハ全ク價值ナキニ至ルモノナレバ

ナリ口頭報告ニニアリ敵ニ就キテノ報告ト地形ニ就キテノ報告
 ト是ナリ而テ敵ナキ時ニ於テモ猶ホ之ヲ報告スルヲ要スルモノ
 トス

イ 敵ニ就キテノ報告

報告ノ要領ハ左項ニ依リ判然區別スルヲ要ス而テ敵ノ兵力ハ人
 員ヲ以テ報告スルヲ良トス隊數ヲ以テ報告スルコトハ眞ニ確實ナ
 ルトキニ限ルベシ又砲兵ニ就キテハ其砲數ヲ報告スベキモノト
 ス

項目

例

一 斥候ノ名稱

一 池袋村ニ派遣セラレタル第一

斥候報告

一 時間

一 只今ヨリ約五分前

一 自己ノ實見シタル件

一 敵ノ騎兵(兵種)約十騎(兵力)

(兵種兵力方向)

步兵(兵種)約二中隊(兵力)金

井窪村ヨリ池袋村ニ向ヒ(方

向)行進スルヲ見ル

一 徴候

一 池袋村ノ諸道路ニハ數多ノ蹄

跡ヲ見ル

一 他人ノ見聞セシ件

一 多クハ將校斥候等稍大ナル

斥候ニ於テ報告スル時ニ此

件アリ例ヘバA村ニ出セシ

斥候ノ報ニ依レバ云々等ノ

如シ

一 他人ヨリ傳聞シタル件

一 旅人ノ言ニヨレバ金井窪村

ニハ歩騎砲、兵合シテ約二

千人集リ大ナル竈ニテ飯ヲ

炊グノ準備ヲナセリト云フ

一推測

一想フニ敵ハ本夜金井窪村附近
ニ宿營シ其前哨ヲ池袋村ニ配
布スルナラン

一斥候今後ナスベキ處置

一斥候ハ池袋村東南端ニアリテ
池袋村ヲ監視ス

行軍間ノ側斥候報告ノ例

一右側斥候報告、只今(時間)池袋村ノ南端ニ於テ敵ノ歩兵斥候
ヲシキ者三名ヲ發見ス(目撃)且ツ池袋村ニ當リ砲車ノ音響ヲ
聞ク(徵候)多分後續部隊ノ續行スルナラン(推測)斥候ハ猶ホ

敵ノ背後ヲ搜索セントス(今後ノ處置)

行軍間ノ路上斥候報告ノ例

一路上斥候報告、只今(時間)道路上我ヲ距ル六百米突ノ林縁ニ
敵ノ歩兵下隊三名猶ホ其後方ニ歩兵約一分隊計リ我ニ向ヒテ
前進スルヲ見ル(目撃)多分敵ノ尖兵ナラン(推測)斥候ハ路傍
ニ隱蔽シテ之ヲ監視ス(今後ノ處置)

報告ハ報告兵タル斥候ノ爲スベキモノニシテ斥候長ハ適正ナル
報告ヲナサシムベキ責任アリ故ニ報告兵ヲシテ之ヲ複唱セシム
ルノミナラズ猶能フベクンバ之ヲ目撃セシムルヲ要ス而テ報告

兵ハ最近捷路ヲ取リテ急歩歸隊スベキモノトス是レ報告ノ價值ハ迅速ニアレバナリ若シ歸途他隊ノ者ニ出會スル片ハ必要ト認メタル片ニ限り之ヲシテ其隊長ニ報告セシムルヲ要ス

ロ 地形ニ就キテノ報告

地形ノ搜索ハ啻ニ戰術上ノミナラズ休養上ニ於テモ往々必要ナルコトアリ而シテ戰術上地形ノ搜索トシテ派遣スル兵卒斥候ノ任務ハ極メテ單簡ナルモノニ限り少シク複雜ニ涉ルモノハ將校斥候又ハ偵察士官ノ行フベキコトトナス其單簡ナル要目ヲ舉グレバ

各兵種ノ爲メ通過ノ便否

展望ノ難易

橋梁及ビ渡河點ノ搜索

道路ノ有無及ビ通ズル方向

宿營ノ饒否

物資ノ多寡

道路ニ就キテハ幅員構造險易側方ノ地勢及ビ其通ズル村落等、森林ニ就キテハ樹木ノ種類疎密廣狹通過ノ難易等、橋梁ニ就キテハ種類構造堅弱長短等、河川ニ就キテハ兩岸ノ形狀河底ノ深

淺、水流ノ速度、河床ノ性質、砂洲ノ存在及ビ渡河點等、(殊ニ徒涉場及ビ渡船場ノ有無ニ注意スベシ而テ渡船場ノ報告ニハ船數ヲ始メトシ船ハ何レノ岸ニアルヤ又幾人ヲ載スベキヤ其他船具ノ整否船夫ノ有無等ヲ報告セザレバ更ニ價值ナキモノトス)村落ニ就キテハ構造大小延長道路ノ多少周圍ノ地形圍繞物ノ性質及ビ我ニ面スルハ長側面ナルヤ短側面ナルヤ等、高地ニ就キテハ高度傾斜頂上ノ廣狹攀登ノ難易周圍ノ地形及ビ開濶ナルヤ蔭蔽ナルヤ等、道路ノ有無及ビ通ズル方向ニ就キテハ某點ニ達スルニハ何レノ道最モ近キヤ又此道路ハ何村ニ通ズルヤ等、物

資ニ就キテハ徵發シ得ベキ家屋運搬具食品生獸等、

以上ノ諸件ハ斥候長ノ意見ニ應ジ適宜取捨報告スベキモノトス而テ其動作ハ敵ニ接近シタル場合ニ於テハ普通斥候ニ準ズベキモノトス

例、神田上水ヲ搜索セシ斥候報告、神田上水ハ幅約十米突兩岸崖ニシテ矮樹叢生シ彼岸ヨリ通視ヲ遮ル然レモ水深約二米突ニシテ徒涉スルヲ得ズ

第十九 行軍長徑及ビ兵力測定法

戰時歩兵一中隊ノ四列側面行進ノ長徑ハ 約百米突

同一大隊ハ

四百二十米突

同小行李共ハ

五百五十米突

又歩兵一中隊(約百米突)ガ一點ヲ通過スルニハ約一分間ヲ要ス
故ニ小行李ヲ有セザル同一大隊ハ約四分強ヲ要ス

若シ時計ナキハ足踏ニテ算スベシ(百十五歩ハ一分間ナリ)

問題

一金井窪村ヨリ池袋村ニ向ヒ行進スル敵ノ歩兵隊アリ其先頭ノ
池袋村ニ入り始メシヨリ其後尾ノ入り終リシ迄約十七分ヲ費
セリ敵ノ兵數ノ概算如何

第二十 徵候

徵候ハ斥候ノ最モ深ク注意スベキモノトス何トナレバ之ニ依リテ
敵ノ情況ヲ視察スルノ端緒ヲ得又敵情ヲ判定シ得ベケレバナリ
塵埃、煙、銃聲、砲聲、露營火、敵營ノ動靜、陣營ノ痕跡足跡、蹄
跡、車轍ノ痕跡、號旗、信號火、馬ノ嘶聲、烈シキ吠聲、禽獸ノ動
靜、車輪ノ音響、河面ヲ流ル、木片、食糧物資等ノ運搬、河邊
ニ於ケル槌音、敵ノ遺棄セシ物品等即チ是レナリ

一塵埃ハ軍隊ノ行進スルニ當リ起ルモノニシテ其延亘性質ニヨ
リテ兵員及ビ方向ヲ判定シ得ベシ然レモ常ニ風向ヲ參酌セザ

ルベカヲズ其高ク淡キハ騎兵、高ク濃キハ砲兵、低ク濃キハ徒歩隊又ハ山砲兵ナリ

一煙ノ白キハ薪ヲ燒ク烟ニシテ黒キハ概シテ人家ヲ燒ク烟ナリ

一銃聲ノ多少ニ依リテ戦闘部隊ノ大小ヲ推知シ得ベク又其ノ方向ニ依リテ彼我ノ位置ヲ判定スルヲ得ベシ

一砲聲ニ依リテ本戦ノ開始セラレタルヲ知リ得ベク又砲聲ノ多少ヲ以テ部隊ノ大小ヲ推知シ得ベシ

一露營火ニ依リテ敵ノ位置ヲ知リ得ベク又其多少ニヨリテ部隊

ノ大小ヲモ知リ得ベシ然レモ敵兵退軍ノ夜ノ如キハ殊更ニ露營火ヲ増スヲアレバ注意スベシ又其餘燼ニヨリテ敵兵退去セシ時間ヲモ推知シ得ベシ

一夜间敵營喧噪ナルカ又ハ炬火數々動クハ敵ノ動カントスル徵候ナリ

一陣營ノ痕跡ニヨリテ如何ナル兵種ガ駐在セシカ又其部隊ノ大小及ビ狼狽シテ退軍セシヤ否ヤヲ察知シ得ベシ又其足跡等ニヨリテ退去ノ方向ヲモ判定シ得ベシ

一足跡蹄跡ニ依リテ兵種兵力ノ概算及行進方向ヲ推知シ得ベシ

一車轍ノ痕跡ニ依リテハ車輛ノ種類ヲ判定シ得ベシ故ニ報告ノ際車轍ハ其種類ヲ區別シ又ハ轍痕ノ厚サ及ビ兩輪間ノ幅ヲ測ルヲ要ス

一號旗及ビ信號火ハ概シテ他ニ敵兵ノ存在スルヲ示スモノナレバ其信號ヲナス方向ヲ注意スルヲ要ス

一烈シキ吠聲ハ軍隊ガ村落附近ヲ通過スル際ニ多ク發スルモノナリ

一馬ノ嘶聲ハ乘馬兵種ノ存在スル徵候ナリ

一飛禽亂レ起ツハ怪ムベキ徵候ナリ

一車輪ノ音ノ大ナルハ概シテ砲兵ナリ而テ音響ノ進ム方向ニヨリテ其行進方向ヲモ推知スルヲ得ベシ

一河水ノ面ニ木屑等ノ流れ來ルハ敵兵上流ニ於テ架橋準備ヲナシツ、アルノ徵候ナリ

一土民ノ糧食其他ノ物資ヲ運搬スル者アレバ之ヲ訊問シテ敵ノ位置ヲ知ルコト多シ

一河邊ニ於ケル槌音ハ概シテ架橋準備ノ徵候ナリ何トナレバ敵兵架橋セント欲スルヤ先ヅ河邊ノ蔭蔽地又ハ支流ニ於テ其準備ヲ完成スレバナリ

一敵ノ遺棄セシ物品ニ依リテ其兵種兵力又ハ通過セシ時間等ヲ推知シ得ベシ

徵候ノ例

源義家清原武衡ヲ金澤ノ柵ニ攻メントス柵ヲ去ル里許ニシテ雁行亂ル、ヲ望ミ謂テ曰ク是レ伏アルナリト兵ヲ縱チテ搜索シ獲テ之ヲ殲ス

加藤清正ノ韓都ヲ攻ムルヤ金命元舟師ヲ以テ漢江ヲ扼ス清正來ルヲ聞キ疑兵ヲ措キテ遁ル清正江ニ抵リ前岸ヲ望ミ笑ヒテ曰ク敵ノ船上覺アリ是レ兵ナキナリト善ク洸グ者ヲシテ往キテ其舟

ヲ取ラシメ以テ渡ル

明兵清正ヲ蔚山ニ圍ム諸將趣キ援ク黒田長政後藤基次ヲシテ搜索セシム基次一馬蹶チ河岸ニ得還リ報ジテ曰ク是レ日本製ナリ我兵己ニ騎渡セルモノアリト

關ヶ原ノ役石田三成大垣ニ據ルヤ家康謀ヲ以テ三成ヲ誘ヒ出戰セシメントス福島正則ノ斥候法齋報ジテ曰ク敵出ヅト正則問フ何ヲ以テ之ヲ知ルヤ對テ曰ク臣指ヲ馬糞ニ入ル、ニ皆温シ是ヲ以テ敵今出デタルヲ知ルト

三河ノ軍長篠ヲ攻ム武田勝頼馬場信房ヲ遣リ長篠ヲ援ケシム敵

伏テ設ケテ柴ヲ燔キ以テ營ヲ燒キ遁ル、ノ狀ヲナシテ我ヲ誘フ
將士之ヲ追ハント欲ス信房曰ク其煙白シ營ヲ燒クニ非ザルナリ
ト騎ヲシテ之ヲ搜索セシムルニ果シテ伏アリ

第二十一 地形之識別

地形ヲ別チテ地區及ヒ地物ノ二トナス地區ハ大ニシテ多クハ天
然ニ成ル平原、高地、斷絶地、沼澤、流水、森林、村落等ノ如シ地物
ハ小ニシテ多クハ人工ニ成リ常ニ地區内ニ存在ス家屋、圍牆、
橋梁、塹壕等ノ如シ左ニ斥候報告上必要ナルモノヲ摘載ス

イ 地 區

土地ノ形狀ニ從フ區別

開濶地 又敞開地トモ稱ス地物ノ爲メニ通視ヲ妨ゲラル、コナ
ク展望自在ナル土地ヲ云フ

蔭蔽地 森林村落又ハ長大ナル耕作物等ノ爲メニ通視ヲ妨ゲラ
ル、土地ヲ云フ

斷絶地 水流地隙ノ爲メニ斷絶セララル、平地ヲ云フ概シテ運動
困難ナルモノナリ而テ開濶斷絶地ト蔭蔽斷絶地トノ二種アリ

平原地 四方全ク敞開シ且ツ廣漠ナル土地ヲ云フ

波狀地 四方敞開シテ展望自在ナルモ地勢波狀ヲ呈スルヲ云フ

起伏地 波狀地ニ比スレバ地域大ニシテ高地窪地ノ連綿シタル
モノナリ故ニ或ル部分ニ於テハ展望ヲ妨グ

高地 總テ土地ノ廣ク隆起シタル部ヲ云フ

山 百米突以上ノ大ナル高地ヲ云フ

丘阜 圓形ナル孤立ノ隆起地ヲ云フ

臺 高地ノ頂上廣クシテ平坦ナルヲ云フ

凹地 又窪地ト稱ス平地ヨリ低キ土地ヲ云フ

崖 高地ノ急ニ低クナリタル部ヲ云フ

谷 高地ト高地トノ界ニアル土地ノ凹部ヲ云フ

頂界線 又防界線ト稱ス高地ノ斜面ト頂面トノ交接線ヲ云フ

鞍部 山頂ノ低部ヲ云フ峠ハ多ク此部ニアリ

山頂 山ノ頂上ヲ云フ

山腹 山ノ斜面ヲ云フ

麓 山ノ麓ヲ云フ

斜面 高地ノ傾斜シタル部ヲ云フ登斜面及ビ降斜面ノ別アリ

村落 家屋雜樹相混ジ町ニ比シテ稍ヤ疎散ナルヲ云フ

町 家屋ノ櫛比シタル所ヲ云フ

森林 林ノ總稱ニシテ疎林、密林、叢林等ノ別アリ

林空 森林内ノ空所ヲ云フ

林縁 森林ノ縁端ヲ云フ

土地ノ性質ニ從フ區別

荒地 展望自在ナルモ矮草繁茂荒蕪ノ土地ヲ云フ

砂漠 平坦ナル砂地ヲ云フ

濕地 水少ナク矮草ヲ以テ蔽ハレタル沼澤ヲ云フ

沼澤 池ノ水少ナク且ツ淺ク死水ニシテ泥土ノ深キヲ云フ

砂磔地 小ナル砂磔ヲ以テ蔽ハレタル土地ヲ云フ概シテ展望自

在ナレト運動ハ困難ナリ

畠地 耕作地ヲ總稱ス

水田 泥土深ク歩兵ノ跋躄シ能ハザル田ヲ云フ

乾田 又陸田ト稱ス四季共ニ跋躄シ得ベキ田ヲ云フ

池、湖 天然又ハ人工ニ成リ大ナルヲ湖ト云ヒ小ナルヲ池ト云

フ

口地物

家屋

獨立家屋

神社

佛閣

道路

凸道 兩側ノ地ヨリ凸起セル道路ヲ云フ

堤道 河岸ニ沿ヒタル凸道ヲ云フ

凹道 兩側ノ地ヨリ低落セル道路ヲ云フ

鑿開道 山岳又ハ高地ヲ鑿開シタル道路ヲ云フ俗ニ所謂切通シ

ナリ

隘路 水田間ノ道路又ハ鑿開道ヲ云フ概シテ道路ノ左右ヲ行

進シ能ハザルモノナリ

峠 山頂ノ道路ヲ云フ

鐵道 瀛車ノ通過スル道路ヲ云フ

騎小徑 單騎ノ通過シ得ベキ小徑ヲ云フ幅ニ從フ名稱ナリ

歩小徑 單行者ノ通過シ得ベキ小徑ヲ云フ幅ニ從フ名稱ナリ

橋梁 鐵橋、石橋、木橋、釣橋、土橋、飛橋、門橋等ノ別アリ

山腹道 山腹ヲ通スル道路ヲ云フ一側ハ斜面或ハ斷崖ナリ

隧道 地中ヲ通ズル道路ヲ云フ

十字路 道路ノ十字形ニ會シタル點ヲ云フ

丁字路 道路ノ丁字形ニ會シタル點ヲ云フ

三叉路 方向ノ如何ヲ問ハズ三條ノ道路ノ集合點ヲ云フ

四叉路 方向ノ如何ヲ問ハズ四條ノ道路ノ集合點ヲ云フ

五叉路 方向ノ如何ヲ問ハズ五條ノ道路ノ集合點ヲ云フ

交叉點 道路ノ集合點ヲ云フ

棧道 山腹溪谷上等ノ道路ヲ開ク能ハザル部分ニ架シタル橋

梁ヲ云フ概シテ一側ハ斷崖ニシテ一側ハ溪谷ナリ

河川

右岸 下流ニ面シテ右ノ岸ヲ云フ

左岸 下流ニ面シテ左ノ岸ヲ云フ

溝 人工ニ成リタル小川ヲ云フ

流水 流ル、水ヲ云フ

死水 流レザル水ヲ云フ

徒涉場 河川ノ徒涉シ得ベキ點ヲ云フ

渡船場 河川ノ渡船アル點ヲ云フ

支流 河川ノ枝流ヲ云フ

落合 河川ノ合流シタル點ヲ云フ

淺瀬 河川ノ徒涉シテ前岸ニ達シ得ベキ點ヲ云フ

前岸 我ニ反スル岸ヲ云フ但シ水田等ニモ適用ス

後岸 我ノ立テル岸ヲ云フ

第二十二 方位ノ判定

斥候ハ彼我ノ方向ヲ辨知シ未知ノ地ニ入りテ迷ハザランガ爲メ
又報告上方位ヲ明示シ得ベキガ爲メ常ニ方位ヲ知ラザルベカラ
ズ而テ磁針ナキ場合ニ於テハ左ノ方法ニヨリテ判定スルヲ得ベ
シ

イ 太陽

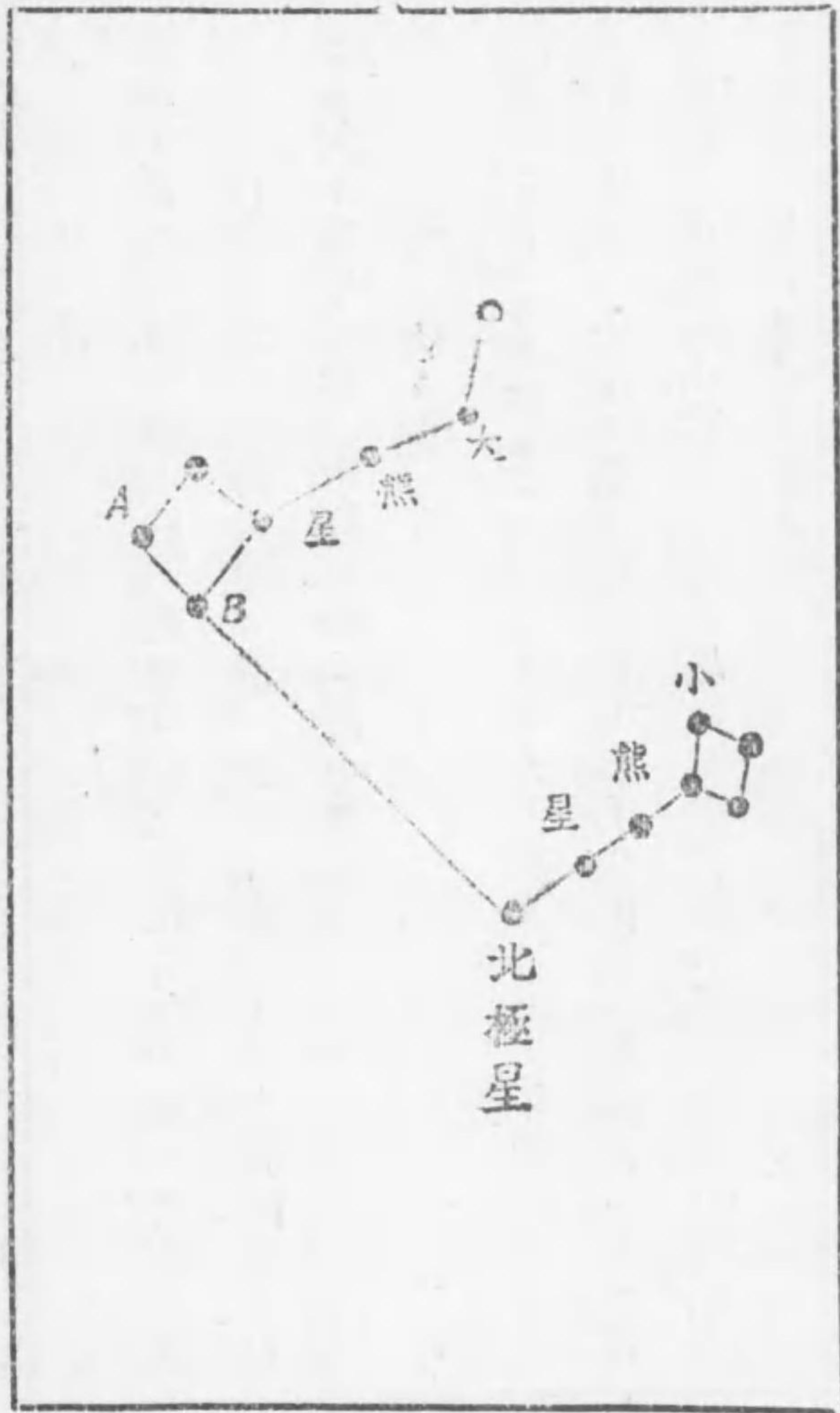
太陽ハ午前六時頃正東ニアリ午前九時頃東南ニアリ午後三時頃
西南ニアリ午後六時頃正西ニアリ之ニヨリテ他ヲ推知スベシ然
レモ此法ハ常ニ正確ナリト云ヒ難シ何トナレバ冬季ニ於テ太陽
ハ正東ヨリ現出セズシテ稍ヤ南方ニ偏スレバナリ

ロ 月

満月ノ月ハ午前六時ニ西、夜半ニ南、午後六時ニ東ニアリ下弦
ノ月ハ右方ヲ欠キ午前六時ニ南、夜半ニ東ニアリ上弦ノ月ハ左
方ヲ欠キ夜半ニ西、午後六時ニ南ニアリ

ハ 北極星

大熊星(七星ヨリ成ル)ニ注目スル月ハ圖上A Bノ延線上A Bノ
五倍ノ所ニ一小星ヲ認ムベシ是レ即チ小熊星ノ北極星ニシテ常
ニ北極ニ位置シ小熊星ハ之ヲ軸トシテ回轉ス又大熊星ハ北極星
ヲ中心トシテ圓形ヲ畫ク



二 時計

一ノ眞直ナル細キ針ノ如キモノヲ時計ノ中心ニ垂直維持シ此影ヲシテ短針ト十二時ノ文字トノ平分ニアラシムレバ十二時ノ文字ノ方向ハ常ニ北ナリ磁針ヲ有スル所ハ此法ヲ反行シテ時計ノ誤差ヲ正ス可ク得。

ホ 樹木

樹木(家屋、屋根、杭、標木等モ同シ)ハ北ニ面スル方日光ヲ受ケザルヲ以テ蘚苔ヲ生ズルヲ常トス又樹木ノ切株ノ渦目ハ北ニ密ニシテ南ニ疎ナリ又樹木ハ常ニ南方ニ繁茂スレバ銀杏樹ハ必

ズ著シク北方ニ繁茂ス又海岸ニ近キ土地ノ樹木ハ悉ク海ニ反スル方向ニ枝ヲ屈ス

へ 土地ノ風向

土地ニヨリ一定ノ風向アリ海濱ニ近キ地ニ於テハ概シテ海岸ノ方向ヨリ吹クヲ多シトス一般ニ春ハ東風又ハ南風、夏ハ南風、秋ハ西風、冬ハ北風多ケレドモ是固ヨリ一定ノモノニアラザレバ單ニ之ニ依リテ方位ヲ判定シ得ベキニアラザルナリ

第二十三 距離目測

距離目測ノ必要ハ斥候ニ於テ益々其重キヲ感ズベシ何トナレバ

報告上常ニ大ナル關係ヲ有スレバナリ而テ目測ハ決シテ目視物體ノ明暗ニノミ依頼スベキニ非ザレバ左ニ其例ヲ記載シテ參考ノ一端ニ供ス

イ 目視ニ依ル法

此法ハ天候(殊ニ太陽ノ位置)及ビ視力ニ依リテ非常ノ差異アレバ平素各自各距離ニ於ケル人馬ノ明暗ヲ記憶シ置クヲ必要トス而テ晴天ノ時、普通ノ視力ニテハ左ノ如シ

二百米突 顔面ハ白色ノ平面ニ見ユ

三百米突 漸ク顔手ノ色ト服色トヲ區別シ得ベシ脚絆ト服トハ

分明ニ判別シ得

四百米突 一體ニ黒色ニ見ユルモ猶ホ脚絆ト服トヲ判別シ得ベシ又兩脚ノ開閉兩手ノ動作ヲ知ルヲ得

五百米突 全ク黒キ物體ノ如ク見ユルモ猶僅ニ脚絆ノ白キヲ認メ得ベシ又明瞭ニ馬脚ヲ算シ得

六百米突 全體黒色ナルモ猶足ノ運動ヲ見ルベク又馬脚ヲ算シ得ベシ

七百米突 全體黒色頭足共ニ不明

八百米突 單獨者ハ殆ンド判別ニ苦ム運動スル片ハ一黒點ノ如

ク見ユルモ歩兵ノ隊伍ニアリテハ全體ノ腰以下ノ動搖ヲ僅ニ識別シ得ベシ

概略ノ例ハ右ノ如シ然レモ目標ノ背後ニ物體ナキ片(海岸等)更ニ分明ニ見ユルモ之ニ反シ背後ノ物體黒キ片ハ七百米突以上ニアリテ單獨者ハ判別ニ苦ムヲ常トス

ロ 天候地形ニヨリ近ク誤測シ易キ場合

目標ノ背後ニアル物體明瞭ナル片

地勢坂狀又ハ波狀ヲ呈シ各部分ヲ通視シ得ザル片

河川ヲ隔テタル片但シ水面ノ見ユル片ニ限ル

凹谷ヲ隔テタル片但シ谷底ノ見ユル片ニ限ル

水平地

明瞭ナル遠隔物

目標太陽ニ面スル片

ハ 天候地形ニヨリ遠ク誤測シ易キ場合

右ニ反スル場合

炎熱ノトキ

中央ノ地形高キ片

兩側蔭蔽シタル道路

瞰望スベキ地勢

敵兵出沒スル片

深林中

目標ノ背後暗黒ナル片

雨天濃霧又ハ拂曉日沒

第二十四 土人訊問法

斥候ハ土人又ハ敵方ヨリ來ル旅人ニ就キテ敵情ヲ訊問シ又道ニ迷ヒタル際自己ノ行進スベキ方向ヲ訊問スルヲアリ其返答ハ容易ニ信偽ヲ判定シ難キガ故ニ時トシテハ小兒ニ訊問スルヲ可ト

スルコトアリ何トナレバ小兒ハ實チ吐クコト多ケレバナリ然レモ常ニ之ヲ以テ満足スルコト能ハズ故ニ土人ノ言ニ就キテ其眞僞ヲ確メント欲セバ先ヅ自己ガ知得シタルコトヲ知ラザル眞似シテ訊問スベシ彼レ眞實ヲ語ルモノナレバ其返答ハ自己ノ知リタルコト符合スベキモ萬一虚僞ヲ吐クモノナレバ全ク之ニ反スル返答チナスベシ例ヘバ道ヲ訊問スルニ先ヅ自己ノ知リタル道又ハ村落ノ方向ヲ問フベシ土人ノ言ノ眞僞ヲ判ズルハ唯此一法アルノミ時トシテハ強迫手段ヲ以テ實チ得ルコトナキニ非ラザルモ此手段ハ常ニ行フベキモノニアラズ而テ深ク注意スベキハ敵

ノ兵力ニ就キテ土人ハ多キニ失スルテ常トス其兵力ノ大ナルニ從ヒ益々然リ

第二十五 捕虜訊問法

斥候敵ノ斥候ヲ捕獲シタル片ハ左ノ事項ニ就キテ必要ナル件ヲ訊問スベシ而テ其訊問ハ捕獲シタル即時ニ於テナスベキモノトス是レ狼狽シテ未ダ思慮スルノ猶豫ナケレバナリ又捕虜數人ナル片ハ各別ニ訊問シテ之ヲ比較對照スベシ然レモ若シ疑ハシキ形跡アル片ハ土人ヲ訊問スルト一般ノ方法ヲ用ユベシ其訊問スベキ要件概略ハ左ノ如シ

所屬部隊及ビ連接スル他ノ部隊、高等指揮官ノ姓名、現時ノ所在及ビ目的等

第二十六 徒涉場ノ探知法

河川ノ淺瀬ヲ探知スルハ土民ニ尋ヌルカ舟ヲ浮ベテ棹サスカ糸ノ一端ニ錘ヲ附シテ探ルカ馬ニ騎シテ測ルカ善ク洄グ者ヲシテ水中ニ入ラシムルカニアリ然レ此ノ手段ニ依ルヲ得ザル場合ニハ左ノ方法ニヨリテ探知スルヲ得ベシ但シ左ノ方法ハ比較上不確ナル場合多キヲ慮ラザルベカラズ

河川ノ屈曲部ノ下流(第一圖)是レ河水ノ衝突部タルA點ノ土砂

ヲB點ニ沈澱スルガ故ナリ

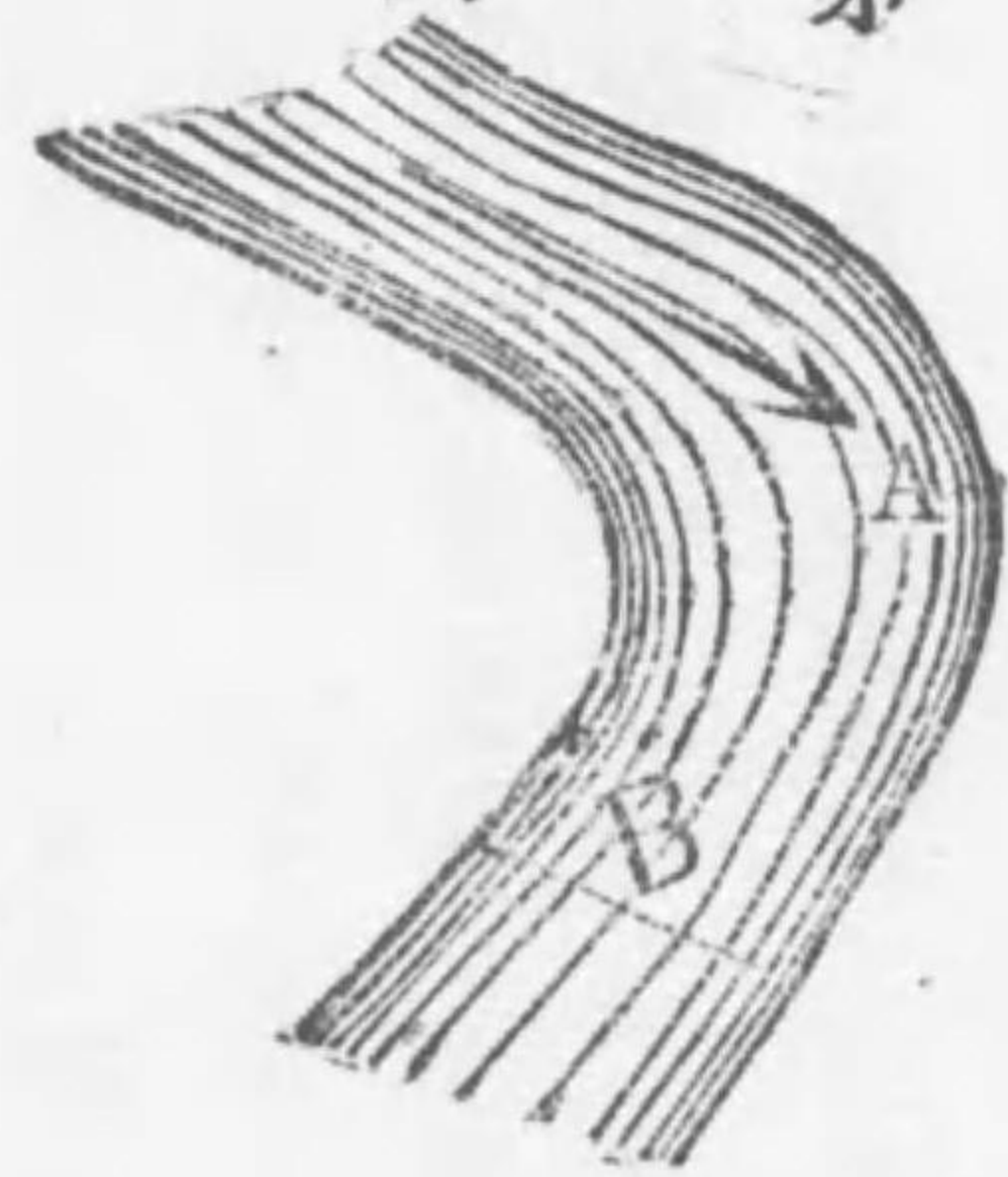
河中ノ急ニ廣クナリタル部(第二圖)是レ同水量ニシテ面積廣クレバ隨ヒテ水淺キ理ナリ

漣波起ル所(第三圖)是レ水淺ク水流河底ノ石ニ激スルヲ以テ漣波ヲ生ズレバナリ

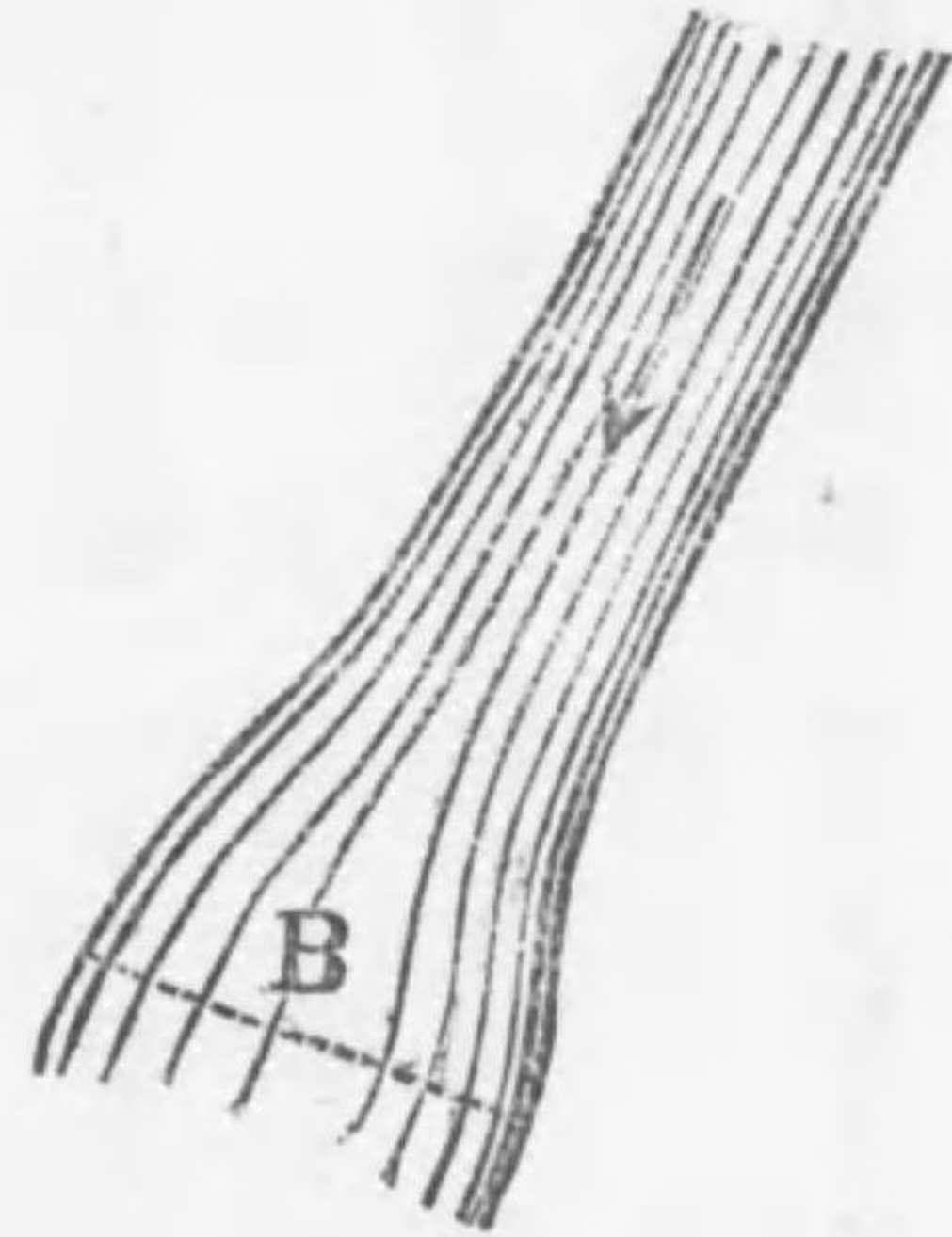
河岸ニ直角ナル歩小徑ノ盡キタル點(第四圖)是レ土人ノ徒涉セシ徵候ナリ

河川ノ兩岸ノ地勢急峻ナルハ河水深ク緩緩ナルハ概シテ河水淺シ(第五圖)

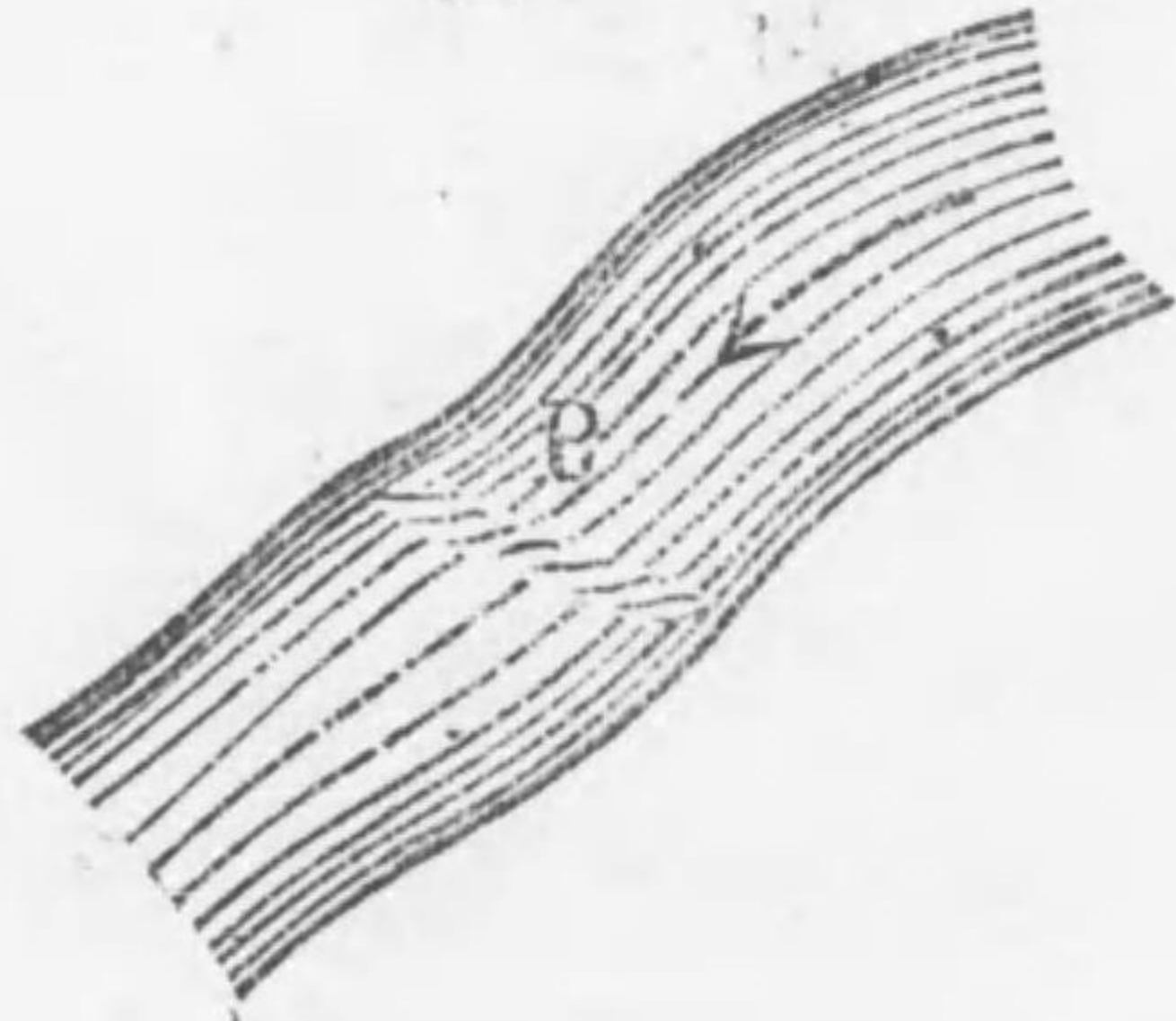
第一圖



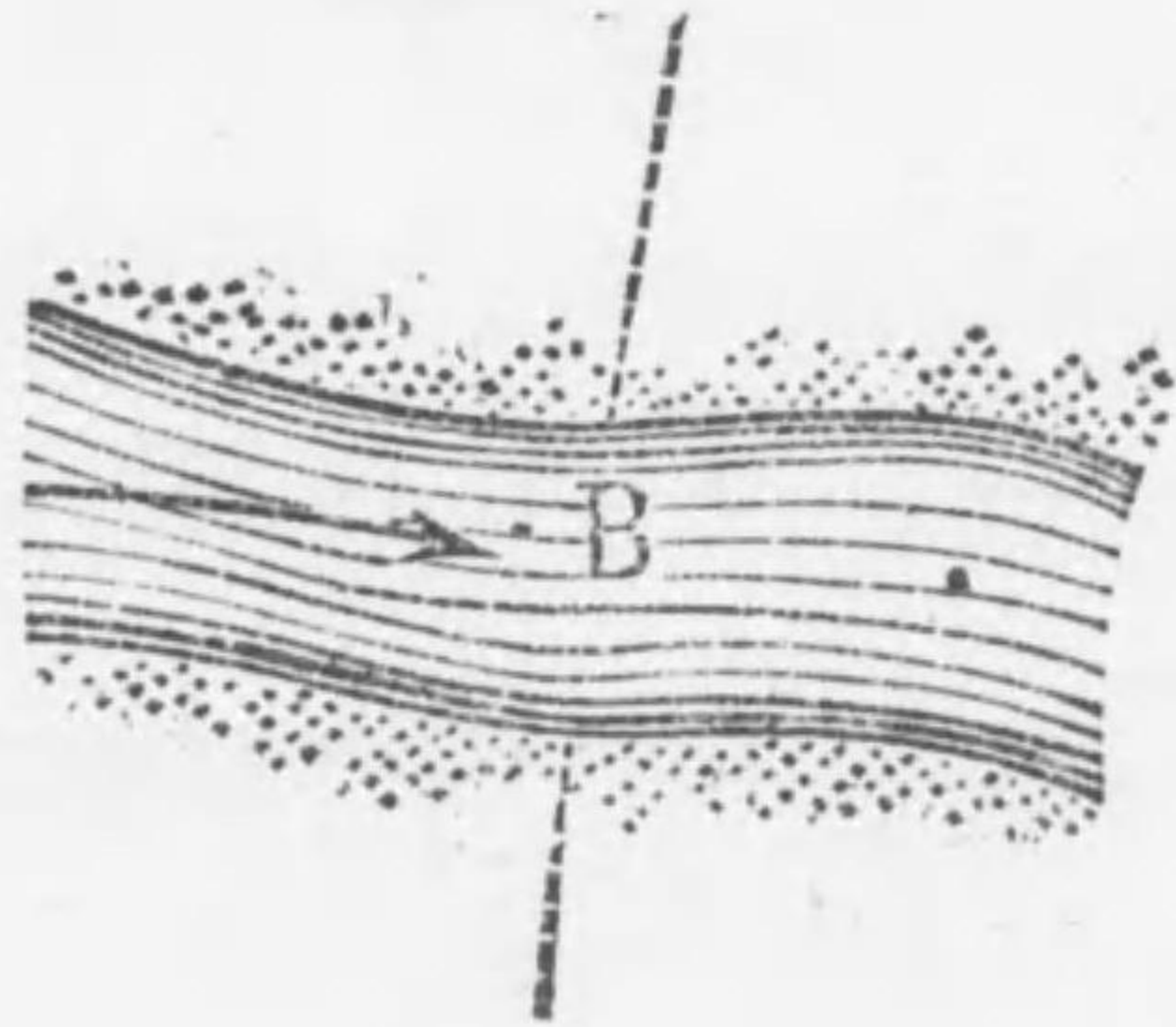
第二圖



第三圖



第四圖



圖五第

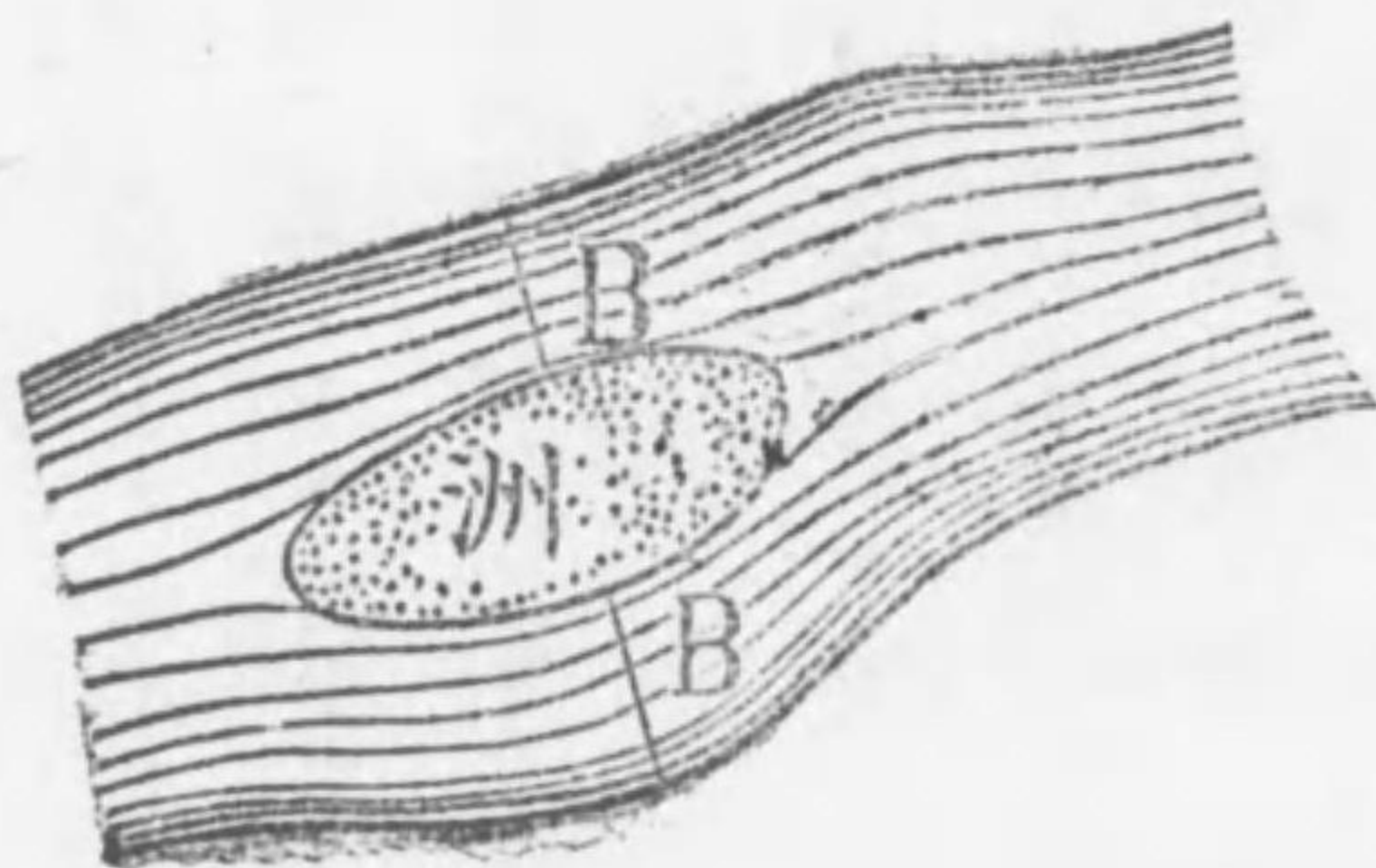
河ノ浚急岸兩



河ノ坦平岸兩



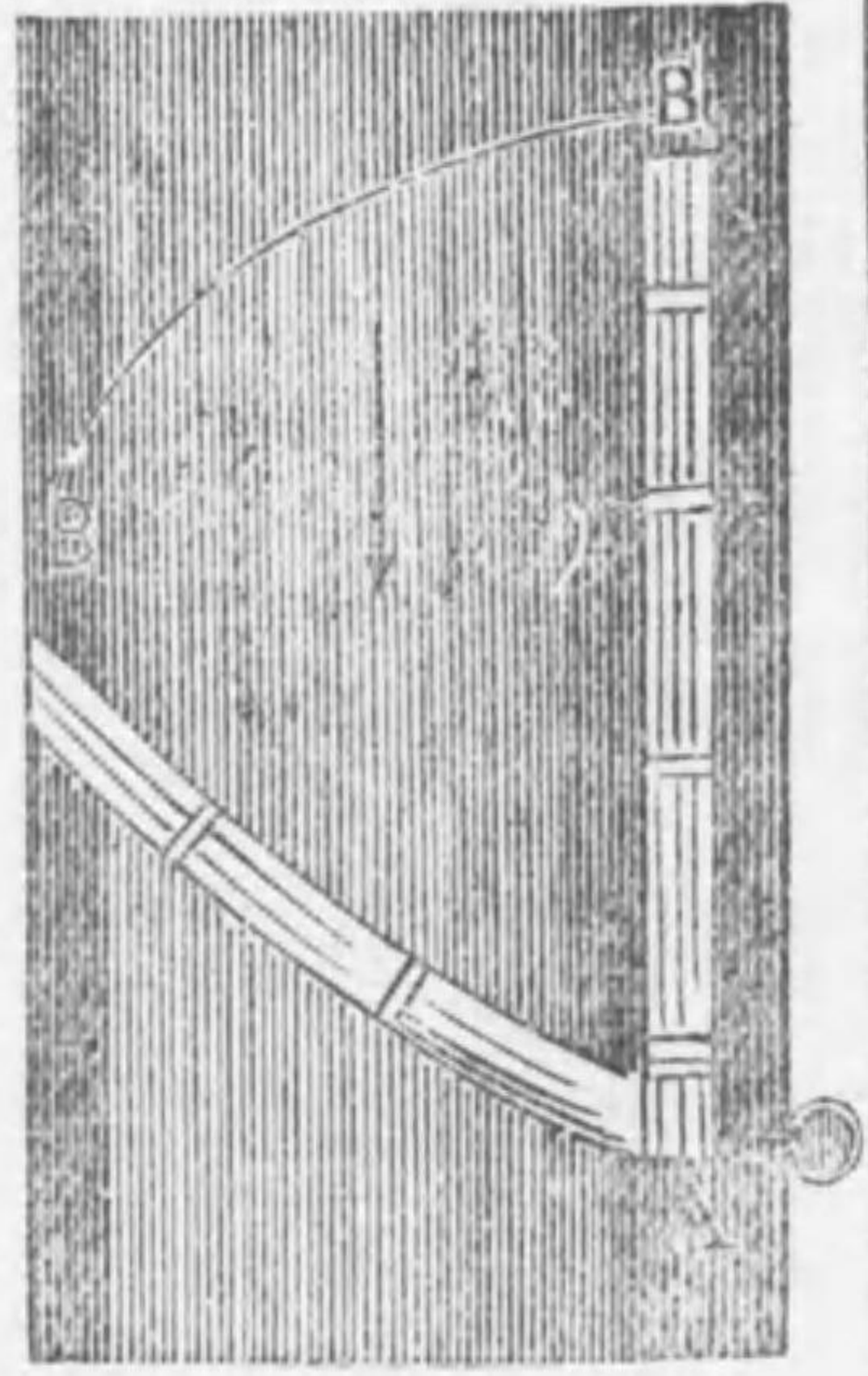
圖六第



渡河法

徒涉場ナキ場合ニハ岸上ノ樹木ヲ上流ニ向ヒテ伐倒シ其末端水勢ニ依リテ前岸ニ止マルヲ待チ之ニ依リテ渡河スベシ若シ河中廣キ岸ハ成シ得ベケレバ兩岸ヨリ此法ヲ行ヒ樹枝ヲシテ中流ニ交叉セシムベシ

附近ニ竹又ハ木材ヲ發見シタルトキハ河中ヨリ稍長キ單簡ナル筏ヲ組ミ左圖ノ如ク我岸ニ浮ベ下流ニ向ヘルA點ヲ我岸ニ結定シ上流ニ向ヘルB點ヲ中流ニ突キ放ツベシ然ル岸ハ筏ノB點ハ水勢ニ依リテ前岸ニ達シ止マルベシ



第二十七 斥候出發前ノ動作及ビ行進間ノ注意

凡ソ斥候長ノ任務ヲ受クルヤ直チニ命令者ノ面前ニ於テ之ヲ榎

唱ス若シ部下ノ斥候其場ニアラザレバ之ヲ召集シテ更ニ其任務ヲ訓示ス是レ今後任務ノ實施上必要ナルノミナラズ萬一自己敵ノ爲メニ斃サル、モ猶ホ生存ノ斥候ヲシテ任務ヲ果サシメンガ爲メナリ訓示終レバ各斥候ハ彈倉ヲ填充シ（夜間ニ於テハ着劍ス）斥候長ハ部下斥候ヲ率キテ命ゼラレタル地點ニ向フ而テ行軍間ノ側斥候ニアリテハ成シ得ベキダケ本隊ニ連絡シ駐軍斥候ニアリテハ前哨線ニ近ク遠方ヨリ目撃シ易キ一ノ集合點ヲ定ムベシ是レ萬一敵ノ爲メニ分散セラル、モ再ビ集合シテ任務ヲ果サンガ爲メナリ其集合點ハ概シテ丘阜獨立家屋松林獨立樹等トス而テ行進中ハ啻ニ敵方ノミナラズ時々後方ヲ顧ミテ遠方ヨリ

目撃シ易キ物體ヲ記憶スルヲ要ス是レ方位ヲ迷ハザル爲メト退却ノ際道ヲ失ハザランガ爲メナリ

第二十八 諸種ノ敵情及ビ地形ニ於ケル

斥候ノ行進及ビ搜索法

斥候ノ行進及ビ搜索法ハ敵情任務及ビ地形ニ從ヒ斥候長ノ意見ニヨリテ行フモノナレバ固ヨリ千差萬別ニシテ一様ナラズ各自ノ能力ヲ以テ眼ト耳トヲ使用シ以テ任務ヲ完クスベシト云フノ外ハ之ヲ規定スル能ハザルナリ故ニ左ニ掲グル條項ハ唯教育ノ參考及ビ實施上ノ一例ニ供スルニ過ギズ而テ斥候ノ種類ニヨリ動作上固ヨリ多少ノ差異アリト雖モ其要領ニ至リテハ蓋シ大差

アルコトナシ何トナレバ何レノ場合ニ於テモ斥候ノ動作ハ敵情ト地形トニ規定セラル、モノナレバナリ故ニ先ヅ斥候一般ノ服膺スベキ件ヲ掲グ

斥候任務ノ實施上服膺スベキ件

凡ソ斥候ハ戦闘ヲ避クルヲ勉ムベシ是レ無益ノ戦闘ハ自己ノ位置ヲ敵ニ報ズルニ等シク爲メニ意外ノ結果ヲ來タシ遂ニハ任務ヲ果スコト能ハザルニ至レバナリ故ニ理由ナキ射撃ハ嚴禁トス然レモ任務ノ實施上射撃セザルベカラザル時機尠シトセズ即チ左ノ如シ

一 敵ノ部隊我ニ向ヒテ前進シ報告ノ猶豫ナキル但シ一人ハ直チニ之ヲ本隊ニ急報スベシ

一 自己ノ危害ヲ防衛スルル即チ最後ノ手段ヲ取ルル

一 自己ノ任務ヲ實行スル爲メ他ニ手段ナキル例ヘバ他ニ迂回スベキ道ナキ隘路等ニ於テ僅少ナル敵兵ノ爲メニ行進スル能ハザルトキ又ハ側斥候敵ノ斥候ニ妨害セラレテ前進スル能ハザルル等

一 敵ノ斥候ニ發見セラレ地形潛匿スル能ハザルル何トナレバ若シ此ノ時猶豫セバ彼レ必ラズ我ノアルヲ報告スルカ又ハ射撃

スルヲ以テ寧ロ先キンジテ射撃スルヲ良トスレバナリ

一不意ニ敵ト衝突シ適當ノ處置ヲ爲シ能ハザルハ

一我軍ヲ觀察シタル敵ノ斥候ヲ發見セシトキ及ビ敵ノ斥候ノ報

告ニ歸還スルヲ見タルハ

斥候ハ總ベテ危殆ナル地即チ開濶地開濶セル道路及ビ村落等ヲ
成ルベク避ケテ行進スベシ而テ其行進スルヤ地區毎ニ躍進スル
ヲ良トス是レ敵ニ目撃セラル、時間ヲ成ルベク短少センガ爲メ
ナリ又行進中時々停止シテ音響ヲ聞キ或ハ樹木ニ攀登シテ四方
ヲ展望スベシ

斥候ハ啗ニ敵方ノミナラズ併セテ地面ヲモ注意スベキコトハ前
ニ述ベタルガ如シ蓋シ之ニヨリテ地雷ノ有無ヲ知ルノミナラズ
夥多ノ足跡アルハ步兵、夥多ノ蹄跡アルハ騎兵、又車轍ノ痕跡ア
ルハ砲兵等ノ其所ニアリシヲ判定シ得ベク併セテ其兵力行進方
向等ヲモ察知シ得ベケレバナリ

道路ヲ横過セントスルハ先ヅ其ノ後縁ニ停止シ能ク道路ノ左
右殊ニ敵方ヲ觀察シ然ル後迅速ニ之ヲ通過スベシ

凹地及ビ壕ニ於テハ屈身又ハ匍匐シテ前進スベシ但シ一人ハ間
斷ナク周邊ヲ監視スベシ

搜索中敵ニ關シテ報告スベキナキモ猶ホ時々異狀ナキ旨ヲ報告スベシ然レモ事ナキニ濫リニ報告兵ヲ歸還セシメテ爾後ノ搜索ヲ困難ナラシムベカラズ

本隊ノ方向ニ當リ烈シキ銃聲ヲ聞キ敵襲又ハ本戦ナラント察知シタル片ハ戦闘斥候ヲ除クノ外ハ速ニ一旦本隊へ歸還スベシ斥候道ニ迷ヒタル片ハ土人ニ尋問スルヲ良トスレモ多クノ場合ニ於テ住民ハ逃走シテ戰場附近ニアラザルモノナリ此ノ時ニ當リテ犬ノ吠聲馬ノ嘶聲ハ軍隊又ハ人民ノ所在地ヲ示スモノナリ其他ノ場合ニ於テ目撃シ置キタル目標ヲ見失ヒタル片ハ方位

ニヨルノ外方便ナキモノトス

斥候互ニ見失ヒタル片ハ他ノ者ニ關セズ搜索ヲ續行スベシ是レ任務ヲ中絶セザランガ爲メナリ然レモ駐軍斥候ニアリテハ互ニ集合點ニ集ルベシ此便宜ニ供センガ爲メ行進中ハ時々附近ニ集合點ヲ定メ置クヲ緊要トス

斥候歸還セシモ所屬部隊ヲ見失ヒタル片ハ先ヅ其所ニ駐在スル隊長ニ報告シ然ル後所屬隊ヲ尋ヌベシ然レモ敵襲其他時機切迫ノ場合ニハ理由ヲ其隊長ニ述ベテ指揮ヲ乞フベシ

斥候ハ途中上官ニ遇フモ敬禮スルヲナシ若シ問ハルレバ敵情ヲ

報告ス他ノ斥候及ビ軍隊ニ遭遇シタルルモ亦同ジ

斥候ノ最モ注意スベキハ敵ノ行進方向ニアリ若シ知り得タルルモハ直チニ之ヲ報告スベシ此報告ハ敵ノ兵力兵種及ビ方向ヲ詳ニスルヲ要ス

斥候ノ始メテ敵ヲ發見シタル報告ハ我軍ニ取リテ最モ必要ノモノナレバ如何ニ僅少ノ敵ナリモ必ズ速ニ之ヲ報告スベシ其後ハ敵ノ部隊又ハ斥候ヲ發見スルトモ特ニ報告ノ必要アリト認ムルモノニ非ラザレバ敢テ報告セザルモノトス

危殆ナル地點ニ於テハ斥候長先ヅ之ニ侵入スベシ是レ他ノ二人

ハ斥候長ノ及バザル地點ヲ補助搜索セシメ且ツ報告ノ用ヲナサシメンガ爲メニ引率シタルモノニシテ又斥候長ハ他ノ二人ニ比シ斥候ニ必要ナル性質ヲ具備シ居レバナリ故ニ行進ニ當リテモ斥候長ハ常ニ危殆ナル方向ニアリテ行進スルヲ可トス何トナレバ不意ニ危害ノ起リタルルモ斥候ヲシテ迅速ニ適當ナル處置ヲナサシムル便宜アレバナリ而テ斥候長危殆ナル地點ニ侵入スルニハ先ヅ之ニ侵入スベキ次點ヲ求ムベシ例ヘバ森林ノ某點怪シムベシト認ムルルモ其點ヨリ若干距離ヲ隔テタル地物ニ據リテ其内部ヲ注視スベシ

斥候途ニ障碍(地形及ビ敵兵ヲ含有ス)ニ遭遇シ到底任務ヲ果シ能ハズト断定スルカ又ハ之ヲ排除迂廻セントスレバ多クノ時間ヲ徒費スベシト思考シタル片ハ一旦速ニ歸還スベシ又敵ニ遇フテ止ムヲ得ズ觸接セザルベカラザル場合ニハ一名ヲシテ報告ノ爲メ速ニ歸還セシムベシ

イ 地形ニ依ル一般斥候ノ搜索法

凡ソ斥候ハ展望ニ便ニシテ其後方ニ潜匿シ得ベキ地點即チ特ニ隆起シタル地點ヲ求ムベシ而テ此ノ如キ地點ヲ發見シタル片ハ能ク敵ノ有無ヲ窺フベシ斥候ノ大道ヲ行進スルハ夜間又ハ敵ニ

遠クシテ危殆ノ虞ナキ時ニ限ル而テ敵ニ遠キ場合ニ於テハ斥候長ハ停止スルヲナク勇敢ニ前進スレモ若シ優勢ナル敵ノ部隊常ニ其道路ヲ行進スル片ハ斥候ハ道路外ニ出デ、之ヲ觀察シ夜間ニ於テハ其響音ヲ聽キ取ルヲ勉ムベシ
斥候蔭蔽シタル地點ニ到着シタル片ハ先ヅ此地ニ停止シテ諸方向及ビ其周邊ヲ觀察シ次ニ進ムベキ地點ヲ定ムベシ

高地

斥候高地ニ近邇シタル片ハ成ルベク射撃ノ限界外ニ於テ蔭蔽物ヲ利用シ敵兵高地ニ防禦ヲ施シタルヤ否ヤ又既ニ之レヲ占領シ

タルヤ否ヤヲ觀察スベシ蔭蔽物ナキ場合ニハ前地ヲ展望シ得ベキ地點ニ潛登スベシ

敵兵未ダ高地ヲ占領セザリシハ斥候長ハ前方ノ一兵ト共ニ成ルベク速ニ此高地ヲ洞見シ得ベキ地點ニ登ルベシ此間他ノ一人ハ二人ノ爲メニ後方及ビ側方ヲ警戒シ斥候長ヨリ前進ノ記號ヲ得タルノ後、繼進スベキモノトス而テ斥候長ハ其到着ヲ待チ更ニ蔭蔽シタル次點ニ向ヒテ前進スベシ然レモ決シテ前進ヲ續行シテ高地ヲ超過スベカラズ再ビ降下シテ斜面ニ沿ヒ繞回スルヲ良トス是レ敵ニ發見セラレザランガ爲メナリ

隘路

前岸蔭蔽シタル隘路ニ達セシハ斥候長ハ二人ヲ後岸ニ殘シ置キ自己先ヅ前岸ニ走リテ敵ノ有無ヲ觀察シ然ル後繼進ノ記號ヲ與フベシ總テ斥候長ハ此ノ如キ危殆ノ地點ニハ常ニ卒先侵入スベキモノトス

隘路回道ニシテ長キハ斥候長ハ高所ヲ前進シ他ノ二人ハ大ナル距離間隔ヲ以テ回道中ヲ行進ス前岸ニ近附キタルハ斥候長ノミ先ヅ侵入シ他ハ停止シテ之レニ注目スベシ

隘路橋梁ナルモ前岸蔭蔽シタルハ先ヅ斥候長ノミ侵入スベシ

隘路甚ダ長キ片ハ上法ニヨリテ地物ヲ利用シ適宜數回ノ躍進法
 ヲ行フテ前進スベキモ若シ利用スベキ地物ナキ片ハ斥候長ハ一
 人ヲ殘シ置キ他ノ一人ト共ニ大距離ヲ存スル一線ノ縱隊トナリ
 斥候長先頭ニ立チ前岸ニ近付キタル片斥候長ノミ先ヅ侵入シ他
 ノ一人ハ之ニ注目スベシ此一人ハ時機ニヨリ斥候長ヲ赴援シ又
 ハ後岸ニ停止セル一人ニ記號又ハ通報ヲナスノ任務ヲ有ス
 隘路ノ延長甚シク前法悉ク適用シ難キ場合ニアリテハ三人共ニ
 隘路上ヲ一縱線トナリ記號又ハ音聲ノ通ズルヲ度トシ大距離ヲ
 取り斥候長先頭ニ立チテ行進スベシ

開 濶 地

開濶地ニ於テハ敵ニ發見セラル、ノ虞最モ多キヲ以テ一ノ地物
 ヨリ他ノ地物ニ移ルニハ迅速ナル駈歩ヲ以テスベシ廣キ開濶地
 ニ於テハ常ニ躍進法ヲ用ユ其地物ニヨルヤ次ニ倚ルベキ地物ヲ
 發見スルトニ注意スベシ而テ敵情疑ハシキ片ハ三人同時ニ射撃
 ヲ受ケザル爲メ逐次ニ躍進スベシ

村 落

大ナル村落ヲ搜索スルニハ多數ノ時間ヲ費シ且ツ危殆ニ陥リ易
 ク時トシテハ捕獲セラル、ノ恐レアリ敵國ニ於テハ殊ニ然リト

ス故ニ成ルベク村縁ヨリ觀察シ必要止ムヲ得ザル場合ニ限り村落内ニ入ルヲ良トス而テ大概村落ノ側方ナル地點ヨリ機眼ヲ以テ觀察シ得ベキモノナリ

小ナル村落ヲ通過スベキ所ハ二人ハ各側方ヲ搜索シ一人ハ道路ヲ行進シ相互ニ他ノ者ノ危殆ニ陥ラントスルヲ察シタル所ハ射撃ヲ以テ警戒スベシ凡ソ斥候ノ村落ニ侵入スルニ當リ直チニ内部ニ闖入スル所ハ埋伏シタル敵ノ斥候ノ爲メニ射撃セラル、ト多ケレバ深ク注意ヲ加フベシ先ヅ最外ノ家屋ヲ窺ヒ異狀ナキ所ハ其家人ニ就キテ敵情ヲ訊問シ成ルベクハ人質トシテ或ル點

ニ達スルマデ伴ヒ行クベシ而テ其他ノ家屋ハ庭園又ハ外方ヨリ窺ヒ見ルヲ以テ足レリトス

村落ノ出口ニ達スレバ先ヅ停止シテ前地ヲ觀察スベシ若シ附近ニ高地アレバ一人ハ之ニ登リテ展望スベシ

大ナル村落ニ於テハ各通路ニ斥候ヲ派遣スベシ而テ通路ト直角ナル道路又ハ空隙地ハ各斥候ノ連絡上便宜ヲ與フルト多シトス

村落ニ於テハ居民ヲ訊問スベシ又諸官衙等ノ書類ヲ奪取スベシ

森林

百
森林ヲ搜索スルニ當リテハ斥候長ハ先ツ林縁ヲ觀察シ然ル後チ
内部ニ侵入スベシ通視自在ナラザルハ相互ニ接近シテ行進ス
ベシト雖モ大概二十乃至三十米突ヲ隔テ、進ミ（成ルベクハ一
列横隊トナリ斥候長其中間ニアルヲ良トス）三人同時ニ伏兵ニ
陥ルヲ豫防シ又談話ヲ避クベシ何トナレバ容易ニ敵ニ覺ラル
、ノミナラズ秘密ヲ聞キ取ラル、ノ恐レアレバナリ相互ノ連絡
ハ行進ノ爲メニ發スル樹葉及ビ裝具ノ音響又ハ時々樹枝ヲ折損
スル音響ニ依リテ保持スベキモノトス而テ又時々瞬間停止チナ
スヲ要ス是レ他兵ノ發スル音響ヲ聽取センガ爲メナリ

斥候ハ成ルベク森林外ノ地ヲ通視シ得ラルベク且ツ外部ヨリ發
見セラレザルベク其内部ヲ沿行スベシ

幅員狹キ森林ヲ通過セントスルハ三人横ニ一線トナリ斥候長
ハ中間ニアリテ行進スルヲ良トス何トナレバ斥候長ハ斥候ノ報
告ニヨリテ左右何レノ林縁ニモ速ニ赴キ得ラルレバナリ

斥候林縁ニ來リタルハハ近距離ニ於テ林端及ビ入口ヲ觀察シタ
ル後斥候長ノミ深ク注意シテ潛ミ寄ルベシ他卒ハ熱心ニ林縁及
ビ斥候長ヲ注視シ若シ斥候長不審ノ情況ヲ見聞シ他卒ニ向ヒテ
來レノ記號ヲナスハ他卒ハ射撃ノ準備ヲナシテ前進スベシ總

ベテ森林ニ潜ミ寄ルニハ最大ノ注意ト巧智トヲ要ス何トナレバ
萬一敵ノ偵哨森林中ニアルルハ斥候ノ全ク近傍ニ近寄ルヲ待チ
テ之ヲ射撃スルコトアレバナリ

森林中ニ堆積シタル材木アルルハ直チニ之ニ近寄ルベカラズ先
ヅ適當ノ距離ニ於テ側面ヨリ其後部ヲ監視スベシ又林縁ノ外端
ニ接近シタルルルハ前地ヲ展望シ得ルマデ靜ニ潜進スベシ

ロ 駐軍斥候ノミ適用スベキ件

斥候ノ歩哨線ヲ通過セントスルヤ先ヅ三人共ニ歩哨ノ傍ニ蔭蔽
シテ任務ノ概略ヲ語り敵情ヲ尋問スベシ次ニ斥候長ハ展望自在

且ツ我ノハコメニ掩蔽物トナルベキ地點及ビ之ニ達スベキ通路ヲ
撰定シ確實ニ之ヲ斥候ニ指示シテ了解セシメ然ル後前進ス前進
ノ法ハ或ハ匍匐シテ進ミ或ハ開濶地ヲ疾走シ或ハ蔭蔽地ヲ潜行
シ或ハ地物ヨリ地物ニ移リ斥候長ハ時々斥候ヲ集メテ次ノ到達
點ヲ示シ其達スベキ目的點マデ前進ヲ續行スルモノトス
前哨ヨリ派遣シタル斥候ハ歸着ノ時間ヲ概定スベシ何トナレバ
長官ハ絶ヘズ歩哨線前ノ狀況ヲ知り戰備ノ緩急ヲ規定スル必要
アレバナリ故ニ短時間ニ於テ得タル報告ハ假令ヒ僅少ナリトモ
長時間ヲ費シテ得タル詳報ニ優ル場合多キモノナリ

斥候敵情ニヨリテ止ムヲ得ズ行進方向ヲ變更スルルハ其都度之ヲ報告スベシ

斥候ハ成ルベク往路ト歸路トヲ異ニスベシ是レ敵ニ退路ヲ遮斷セラルルノ憂ナキト搜索區域ノ大ナルトノ利益アレバナリ

ハ 路上斥候ニノミ適用スベキ件

尖兵ハ常ニ道路上ニ斥候ヲ出ダスモノトス此斥候ハ常ニ敵方ヲ觀察スルノミナラズ後方ナル尖兵團トノ連絡ヲ保ツノ任務ヲ負フ故ニ時々背後ヲ顧ミルヲ要ス此斥候ハ若シ途中障礙物アレバ直チニ之ヲ尖兵長ニ報告シ尖兵長ハ速ニ之ヲ除去改修ス又高

地丘陵ニ至レバ斥候長ハ其斜面ニ上リ頂界線ノ稍後方ニ停止シ敵眼ヲ避ケテ展望スベシ路傍ニ丘阜等アルルモ亦之ニ準ス隘路ニ至レバ先ヅ後岸ニ止マリ對岸ニ敵ノ有無ヲ觀察シ敵見ヘザレバ決然進入シテ對岸前地ヲ搜索シ隘路ノ前方若干距離ニ止マリテ敵方ヲ監視シ尖兵ノ全ク通過スルヲ待チテ行進ヲ續行スベシ但シ隘路ノ通過法ハ詳ニ前ニ述ベタリ

隘路凹道ナルルハ少ナクモ一名ハ必ず頂上ヲ行進スベシ敵地又ハ敵ノ退却後殊ニ橋梁ニ意ヲ留メテ檢査スベシ是レ破壊工事ヲナシアルヤ否ヤヲ確カメンガ爲メナリ然レモ尖兵ノ行進ヲ遲滯

セシムベカラザルガ故ニ橋梁前若干距離ヨリ駈足ヲ以テ此點ニ至ルヲ要スルコトアリ

狭小ナル森林ノ近傍ニ至レバ最前ノ二人先ヅ進入シテ之ヲ通過シ他ノ一人ハ入口ニ止マリ敵ノ有無ヲ後方ニ傳フベシ住民地ニテハ先ヅ土人ヲ捕ヘテ敵情ヲ訊問シ戒慎ヲ加ヘテ街路ニ沿行シ其見聞シタル所ヲ尖兵長ニ報告スベシ(村落搜索法參觀)敵ヲ發見シタルルルハ停止潜匿シテ報告スベシ

敵方ヨリ來リタル者ハ悉ク之ヲ尖兵長ニ送ルベシ尖兵長ハ敵情又ハ地形ヲ尋問シテ前兵司令ニ送致ス

前方又ハ側方ニ我軍ヲ發見セシルハ尖兵長ニ報告スベシ凡ソ敵ヲ發見シタルルルハ速ニ報告スベシト雖モ若シ報告ノ猶豫ナキルハ射撃ヲ以テ之ニ代ユベシ何等ノ場合ヲ問ハズ軍隊ヲ發見シタルルルハ彼我ヲ論ゼズ速ニ報告スベシ

敵兵退却シタルルルハ特ニ命令アルニアラズンバ之ヲ急追スルコトナク行進ヲ繼續スベシ若シ僅少ノ敵兵逆襲シタルルルハ力メテ之ヲ拒防スベキモ敵兵衆多ナルルルハ戦闘シツ、徐カニ退却スベシ然レモ時トシテハ後續部隊ノ來援スルマデ死力ヲ盡シテ其地ヲ固守スベキコトアリ殊ニ山頂等ヲ然リトス故ニ斥候敵ニ近付キタ

ル片ハ先ヅ山頂ヲ占領スルヲ勉ムベシ

ニ 側斥候ニノミ適用スベキ件

斥候行進中河川沼澤等ニ遭遇シ如何ナル手段ニヨルモ之ヲ超ヘ難キカ又ハ強テ超ヘントスレバ長時間ヲ徒費スベキ恐アル片ハ速ニ本隊ノ行進路ニ復歸シテ報告スベシ

斥候任務ヲ終リテ本隊ノ行進路ニ出ヅルモ本隊未ダ到着セザル場合ニハ地物ニヨリテ敵方ヲ監視シ以テ本隊ノ來著ヲ待チテ報告スベシ

ホ 停止斥候ニノミ適用スベキ件

停止斥候ハ命セラレタル地點ニ達セバ停止シテ敵方ヲ監視スベシ而テ三人一點ニ集合シテ監視スベキカ又ハ若干ノ間隔ヲ取りテ監視スベキカハ地形ト展望ノ形況トニヨリテ異ナリト雖何レノ場合ニ於テモ必ラズ斥候長ト連絡セザルベカラズ又監視中ハ歩哨ノ動作ニ準ジ監視區域内ニ於テ怪ムベキヲ發見セバ其源因ヲ探究セザルベカラズ而テ監視中遠ク前方ヲ展望セントメニ一人ハ樹木ニ上ルヲ良トス

第二十九 斥候敵ニ對スル動作

斥候敵ヲ發見シタル片ハ直チニ蔭蔽内ニ入ルカ又ハ掩蔽物ニ潜

匿シ敵兵我ヲ發見セシヤ否ヤヲ確ムベシ若シ敵兵長ク我停止セシ地點ヲ熟視スルカ又ハ遽カニ匿レントスルカ又ハ我ニ向ヒテ射撃スルカ又ハ報告ノタメ一人ヲ歸還セシムル等ハ我ヲ發見シタル徵候ナリ

敵兵我ヲ發見シタル片ハ前進ヲ續行シ任務ヲ完了スルト既ニ難シ此ノ場合ニ於テ敵ハ單ニ獨立セル斥候ナルカ又ハ背後ニ行進スル優勢ノ部隊アルカ又ハ哨兵ナルカヲ判定シ其動作ヲ異ニスルモノナリ

敵ノ斥候我ヲ發見セザリシ片ハ身ヲ潜匿シテ其近付クヲ待チ之

ヲ捕獲スベシ然レモ敵ノ本隊又ハ敵ノ歩哨線前等ニ於テハ之ヲ捕獲スルトナク靜ニ其通過スルヲ待チテ任務ヲ全クスベシ而テ常ニ敵ノ斥候ノ爲メニ退路ヲ遮斷セラル、トナキヤウ注意スベシ敵ノ斥候我ヲ發見シテ射撃スルカ又ハ射撃セントスル片ハ我モ亦射撃スベキモノトス而テ成ルベク各人各異ノ敵兵ヲ狙撃シ成シ得ベケレバ之ヲ捕獲スベシ

優勢ナル部隊ハ常ニ警戒方法ヲ取りテ前進スルモノトス故ニ途中勇敢ニ前進スル斥候ヲ見タル片ハ其後方ニ密集部隊ノ隨行シアルヲ推知スベシ

敵兵我隊ニ向ヒテ前進スルカ又ハ斥候不意ニ敵ノ部隊ニ出會シタル片ハ成ルベク猛烈ニ射撃シツ、退却スベシ蓋シ敵兵ハ未ダ我兵ノ所在ヲ知ラズ又我斥候ノ兵力ヲ知ラズ卒然猛烈ナル射撃ニ遇ヒテ其兵力ヲ展開センガタメ時ヲ空費スベケレバナリ且ツ我哨兵ハ射撃ノ音響ニヨリテ敵ノ前進ヲ知り得ルノ利益アリ而テ斥候ノ一人ハ速ニ退却シテ報告スベキモノトス駐軍斥候ニアリテハ此時小哨ヲシテ戦闘準備ヲナサシムルタメニハ大聲敵兵ト呼ブノミヲ以テ足レリトスルコアリ

熟練ナル斥候ハ敵ニ退路ヲ遮斷セラル、モ側方ヨリ逃レ來ルノ

技倆ヲ有スベシ又敵兵猶ホ遠クシテ歸リ報ズルニ充分猶豫アル片ニハ斥候ハ更ニ委シク觀察シタル後捷路ヲ取リテ歸還スベシ靜止シタル敵ノ軍隊ハ我ニ危害ヲ與フルコト小ナリ故ニ斥候ハ之ヲ搜索スルタメ充分ノ猶豫ヲ得ベキモノトス

敵ノ部隊ヲ發見スルモ我小哨ニ向ヒテ前進セザル片ハ之ヲ射撃スルコトナク斥候ノ一人ハ報告シ他ハ止マリテ監視スベシ

敵ノ部隊退却スル片ハ一人ヲシテ報告セシメ他ハ之ヲ追躡ス

敵ノ斥候ヲ射撃又ハ捕獲センタメ埋伏シタル片ハ約二十米突以内ニ近寄ラシメ然ル後射撃又ハ捕獲スベシ

斥候不意ニ敵ノ爲メニ捕獲セラレタルハ成ルベク射撃シテ他ノ斥候ヲ警ムベシト雖モ猶豫ナキ場合ニ於テハ大聲敵ト連呼シテ他ノ注意ヲ促スベシ

斥候途ニ敵ヲ捕獲シタルハ即時ニ任務上必要ナル件ノミヲ訊問シ武器ヲ奪ヒテ一人ヲシテ本隊ニ送致セシムベシ又敵ノ斥候ヲ射殺セシハ敵情ヲ知ルノ端緒トナルベキモノヲ所持スルヤ否ヤヲ檢スベシ譬ヘバ手牒等ノ如シ而テ歸還ノ後報告ニ添ユベキモノトス

斥候ノ一人負傷又ハ戰死セシハ他ノ斥候ハ成ルベク之ヲ遺棄ス

ルヲナク任務ヲ達シ得ベキ手段ヲ取ルベシ止ヲ得ザル時ニ於テハ一人ヲシテ護送セシムベシ

斥候不意ニ射撃ヲ蒙リ蔭蔽物ナキハ直チニ其場ニ伏臥スベシ而シテ徐ニ首ヲ上ダテ其後ノ形勢ヲ窺ヒ猶ホ今後前進スベキ地點ヲ求ムベシ

斥候敵ノ陣地ヲ發見シタルハ左ノ諸件ニ注意スルヲ要ス

一 陣地ノ正面兵力兵種及ビ翼點

一 陣地前ノ地形ノ概略

一 防禦工事ノ種類

一砲兵陣地ノ所在

斥候途ニ敵ノ軍使ニ遭遇セシ片ハ成ルベク之ヲ避ケ一意ニ自己
ガ任務ニ従事スベシ然レモ形狀疑ハシキ片ハ一人ヲシテ若干距
離尾行セシムベシ

斥候途ニ僅少ナル降參人ニ遭遇セシ片ハ直チニ武器ヲ投棄セシ
メ任務上必要ナル件ヲ訊問シ指示シテ查哨ノ方向ニ行カシムベ
シ而テ形狀疑ハシキ片ハ一人ヲシテ若干距離尾行セシムベシ多
數ノ降參人隊ヲ成シテ來リタル場合ニハ勉メテ發見セラレザル
ヤウ潜匿シ一人ハ之ヲ本隊ニ報告シ他ハ行進ヲ續行スベシ是レ

萬一ノ危険ヲ豫防シ且ツ任務ニ要スル時間ノ徒費ヲ避ケンガタ
メナリ

斥候敵ノ傳令使ヲ發見シタル片ハ勉メテ之ヲ捕獲スルカ又ハ射
撃シテ書類ヲ奪取スベシ

斥候敵ノ步哨ヲ發見シタル片ハ先ヅ停止シテ其哨兵ノ近傍ニ他
ノ哨兵アラザルヤ又翼哨ハ何レノ所ニアルヤ又步哨線ヲ繞回シ
得ベキヤ又哨兵間ヲ潜入シ得ベキヤ等ヲ觀察スベシ而テ是等ノ
コトハ概シテ側方及ビ前面ノ地形ニ依リテ觀察シ得ラルベキモノ
トス

今一例ヲ舉グレバ敵ノ歩哨我前面ニアルルハ先ヅ他ニ哨兵ナキ
 ヤヲ探見シ次ニ斥候長ハ其傍ニアル一卒ヲ招キテ自己ニ接近セ
 シムベシ（時トシテハ斥候長自身斥候ニ接近スルコトアリ）此際
 敵ノ歩哨ノタメニ發見セラレザルヤウ蔭蔽又ハ迂廻スルヲ要ス
 而テ斥候長ハ潛進ノ手段ヲ告諭シ今後爲スベキ動作ノ方案ヲ授
 ケ一ノ側方ヨリ廻リテ歩哨ノ方向ニ潛ミ寄ルベシ他ノ斥候ハ敵
 哨ノ斥候長ニ對スル注意ヲ轉ゼシメンガ爲メ若干距離ヲ隔テタ
 ル反對ノ方向ニ現出スベシ此距離ハ地形ノ性質ニ依リテ異ラザ
 ルヲ得ズト雖要スルニ敵哨ノ容易ニ射撃シ能ザルダケノ餘地ヲ

存スベシ而シテ斥候長ハ敵ノ哨兵ノ數小哨ノ位置及ビ陣地等ヲ
 十分探見シ苟モ敵情ヲ知ルニ足ルベキコトハ交代兵又ハ斥候ノ動
 靜等ニ至ルマデ小大トナク注目スベシ若シ此ノ搜索ノタメ小哨
 長ヨリ規定サレタル時刻ヲ經過スルノ恐アルトキハ一人ヲシ
 テ遅延ノ理由及ビ此際マデニ見聞シタルコトヲ併セ報告セシムベ
 シ

熟練ナル斥候ハ巧ニ敵兵ノ眼ヲ避ケテ近接シ其哨兵又ハ複哨ノ
 一人ヲ奇襲シテ之ヲ殺傷捕獲シ又ハ武器ヲ奪取スルコト敢テ難キ
 ニアラザルナリ但シ必要ノ場合ニ限ル

斥候ハ能ク敵哨ノ位置ヲ記憶スベシ成ルベクハ之ヲ記載スルヲ
 良トス何トナレバ次ニ派遣スル斥候又ハ部隊ノタメ大ナル必要
 アレバナリ且ツ何レノ歩哨ノ後方ニ下士哨又ハ小哨ノ存在スル
 ヤヲ觀察又ハ推測スベシ是等ノ事ハ歩哨ノ報告ニ赴ク方向又ハ
 斥候若シクハ交代兵ノ往還スル地點ヲ察セバ其概畧ヲ知り得ベ
 キモノトス

斥候長時間敵ノ歩哨線ニ對シテ停止スルハ容易ニ其小哨ノ位
 置ヲ知り得ベシ此ノ場合ニ於テハ先ヅ一人ヲシテ之ヲ報告セシ
 ムベシ

斥候敵ノ小哨若シクハ複哨ノ位置ヲ搜索セシ後、再ビ之ヲ已知
 ノ地ニ於テ發見セザリシハ其敵兵ハ既ニ退却セシヤ否ヤ又ハ
 位置ヲ轉セシヤ否ヤヲ必ズ確ムベシ

敵兵退却後ニ於テ其小哨等ヲ配置セシ位置ヲ知ラント欲セバ散
 亂シタル薪藁又ハ餘燼等ノ徵候ニヨリテ容易ニ之ヲ認識シ得
 ベキノミナラズ敵兵出發後ノ時間及ビ行進セシ方向等ヲモ知ル
 べキ得ベシ而テ一人ヲシテ之ヲ報告セシムルト同時ニ他ノ二人
 ハ足跡ヲ追フテ若干距離ヲ進ミ猶ホ土人ニ尋問シテ之ヲ確ムベ
 キモノトス

晝間ハ勿論夜間ト雖斥敵ノ歩哨ノ目ヲ掠メテ其線内ニ侵入スル
 一ハ斥候ノ最モ難シトスル所ナリ若シ之ニ侵入セント欲セバ斥
 候長ハ先ヅ他ノ二人又ハ一人ヲ歩哨線外ニ殘留セシムルヲ要ス
 何トナレバ敵ノ歩哨線内ニ侵入スルハ固ヨリ決死ノ覺悟ナカル
 ベカラズ然ルニ三人同時ニ侵入センカ若シ悉ク敵ノ斃ス所トナ
 ラバ一片ノ報告ヲ本隊ニ送ル者ナク從來ノ苦心ハ全ク水泡ニ歸
 スベシ且ツ敵中ニ於テハ人員ノ多キヨリモ寧ロ寡少ナルヲ良ト
 シ殊ニ自己一人ノミナルハ他ニ顧慮ナキヲ以テ動作輕便潛匿
 自在ノ便利アレバナリ然レモ時ノ形況ニヨリ強チ此理ニ拘泥ス

ベカラズ總ベテ斥候敵ノ歩哨ニ近邇セントスルカ又ハ歩哨線ヲ
 通過セントスルニハ夜陰ヲ利用スルヲ良トス然レモ猶ホ往々看
 破セラル、ノ恐アレバ時トシテハ被叢行進ナルモノヲ試ムル一
 アリ其法先ヅ斥候長ハ匍匐シテ雙手ニ銃ヲ携ヘ他ノ斥候ヲシテ
 自己ガ身體ニ樹枝ヲ結着セシム然ルハ恰モ一ノ地物ヲ觀ルノ
 感アルベシ而テ斥候長ハ匍匐シテ漸次歩哨線ニ近付キ敵ノ斥候
 ノ來ルアラバ忽チ停止シテ一ノ地物ニ化シテ之ヲ通過セシメ然
 ル後徐々行進ヲ續行ス其全ク歩哨ニ近付クヤ忽然起チテ歩哨ヲ
 襲ヒ又ハ歩哨ノ目ヲ欺ヒテ線内ニ侵入ス之ニ關シ一奇談アリ

亞米利加獨立戰爭ノ時英軍單哨チ一牧場ノ傍ニ配置セリ然ルニ此任ニ當ル者ハ交代毎ニ皆其ノ所在ヲ失シ數夜ニ及ブモ曾テ一人ノ歸還セシモノナシ一兵アリ自ラ奮ツテ此任ニ當ル夜半一ノ山羊アリ食ヲ求メテ附近ヲ彷徨ス步哨細心之ニ注意シテ怠ラズ山羊漸ク近付キ一躍起立シテ步哨ヲ襲フ步哨之ヲ射撃シテ事ナキヲ得タリ天明ニシテ之ヲ見レバ土兵巧ニ山羊ノ皮ヲ被フリテ斃死セリ依リテ曩日ノ步哨ハ皆此土兵ノ斃ス所トナリシヲ知ル」步哨ニ近邇スルニハ動哨ノ一人其場ヲ去リタル瞬間ヲ利用スルヲ良トス

斥候長幸ニシテ潛行通過スルヲ得タル片ハ密カニ地形ヲ偵察シ退路ヲ失ハザルニ注意スベシ而テ小哨ノ陣地及ビ兵力等必用ノ偵察ヲ終ラバ速ニ退却シ決シテ長ク無用ノ地ニ止リ危害ニ陥ルベカラズ

第三十 斥候ノ退却隊形及ビ動作

斥候若シ優勢ナル敵兵ノ追躡スル所トナリ他ヲ顧慮スルニ遑ナキ片ハ本隊ノ方向ニ向ヒ迅速ニ退却スベシ其隊形及方法ノ如何ハ敢テ論ズル所ニアラズ要ハ巧ミニ敵ノ觸接ヲ避クルニアリ然レモ成シ得ル限りハ連絡ヲ斥候長ニ取ルヲ要ス是レ敵ノ觸接ヲ

避ケ得タル後、再ビ任務ヲ實行センガタメナリ
茲ニ敵ノ追跡ヲ巧ニ避ケ得タル斥候ノ一例アリ

往古某戰場ニ於テ斥候敵ノ追フ所トナリ河中ニ竄入ス敵兵百方
求ムレモ得ズ久クシテ去ル、時ニ斥候微笑シテ河底ヨリ出デ我
軍ニ歸還ス人怪ミテ其處置セシ所ヲ問フ答ヘテ曰ク我河中ニ入
ルヤ刀鞘ノ一端ヲ切り之ヲ口ニ當テ僅ニ鞘ノ一端ヲ水上ニ出シ
テ呼吸シ事ナキヲ得タリト

他ノ場合ニ於ケル斥候ノ退却隊形ハ地形ニ應シテ前進ノ時ノ隊
形ヲ其マ、逆ニ回轉シタルモノニ同ジ而テ停止ノ際モ亦前進ノ

時ト同様ニ配置スベシ

斥候任務ヲ終リタル斥ハ敵ニ發見セラレザルニ先ダチ成ルベク
速ニ歸還スベシ其方法ハ地區毎ニ退却スルヲ良トス而テ斥候ノ
一人ハ我前哨ノ方向ヲ觀察シ且ツ通路ヲ探究シツ、退却スルト
同時ニ他ノ二人ハ敵方ヲ監視シツ、退却スベシ

斥候前進ノ斥ト異ナリタル道路ヲ取リテ歸還スル斥ハ斥候長ハ
先頭即チ我前哨ノ方ニアリテ行進スベシ是レ未知ノ地ナルト猶
ホ敵ニ遭遇スルノ虞アレバナリ敵ノ斥候我後方ニアル場合ニ於
テハ斥候ノ一名ヲシテ通路ヲ直進セシムベシ又退路ニ於テハ斥

候分散シアルトキ必用ナル報告ヲ送ラントセバ敢テ集合スルヲ要セズ其一人ヲシテ速ニ歸還セシムベシ

第三十一 斥候夜間ノ動作

射撃力ノ増大スルニ從ヒ晝間ノ攻撃ハ益々困難トナレバ攻者ハ晝間敵ノ陣地ヲ偵察シ夜陰ニ乘ジテ其附近ニ潜行シ拂曉ヲ待チテ近距離ヨリ猛然攻撃スルニ至ラントハ操典モ既ニ之ヲ豫言セリ故ニ斥候ノ任務ハ夜間ニ於テ一層重キヲ加ヘタリト云フベシ而テ斥候ハ如何ニシテ此重任ヲ盡スベキヤ是レ固ヨリ夜色ノ明暗ニ關係スト雖モ要スルニ見ルトヨリモ聽クトチ主トスルニア

リ故ニ屢々停止シテ音響ヲ聽取スルヲ緊要トス音響ヲ聽取スルニハ耳ヲ地上ニ着ケテ聽クヲ良トス土地ノ震動ニヨリテ部隊又ハ個人ノ接近スルヲ遠距離ニ於テ認知スルヲ得ベシ騎者ノ音響ハ百五十乃至二百米突ノ距離ニ於テモ聽取シ得ルモノナリ夜間ノ行進ハ道路上又ハ之ニ接近シタル地ニ限ルベシ藪或ハ繁茂シタル林ノ如キ陰蔽地ハ成ルベク避ケテ通過セザルヲ要ス何トナレバ音響ヲ發シテ敵ノ注意ヲ喚起スベケレバナリ又林縁ニ沿ヒタル畑地道路ハ森林搜索上最モ重要ナリトス蓋シ林縁ニアリテ靜止セバ能ク森林内ヲ行進スル敵兵ノ音響ヲ聽取シ得レバ

ナリ

敵ノ斥候ニ對スル動作ハ晝間ト大差ナシ然レモ闇黒ハ潜匿ヲ容易ナラシムルガ故ニ唯靜肅ニ停止スルカ又ハ地上ニ伏臥スルヲ以テ足レリトス遁避ハ却ツテ音響ヲルズレバ成ルベク慎ムヲ良トス而テ斥候長ハ前ニ於ケルガ如ク先ヅ一人ニテ潜行シ各種ノ喚呼及ビ音響ヲ潜聽シテ敵ノ位置ヲ覺知スベシ

斥候夜間ニ於テ部隊又ハ斥候ヲ認メタル片ハ彼ノ未ダ覺知セザルニ先ダチ敵ナルヤ味方ナルヤヲ判定スベシ若シ敵ナリシ片ハ之ニ對スル動作ハ晝間ニ於ケルト同一ナリ

斥候夜間ニ於テ村落ノ近傍ニ至リタル片ハ先ヅ潜行シテ最端ノ人家ニ至リ停止シテ其動靜ヲ聽取シ成シ得ベクバ其一人ヲ拘引スルヲ良トス

我軍ノ斥候ハ相互ニ記號ヲ約束シ置クヲ要ス

斥候ノ夜間歩哨ニ對スル動作ハ敵ノ歩哨斥候ニ對スル動作ノ條下ヲ參照スベシ而テ敵ノ歩哨ニ誰何セラレタル片ハ直チニ潜匿シテ彼ノ動靜ヲ窺ヒ猶ホ隣歩哨ノ位置ヲ探究スルヲ勉ムベシ然レモ敵ノ射撃ヲ免レ難キ場合ニ於テハ誰何セラレタルト同時ニ彼ヲ射撃シテ逃走スベシ

夜間ノ火光及ビ怪ムベキ音響ハ搜索上最モ重キヲ置カザルベカラズ

第三十二 退却行ノ後衛斥候

本隊退却スルトキ後衛斥候ノ動作ハ敵ニ接近シタル場合ニ於テ退却スル斥候ノ動作ニ同シ而テ敵兵ノ我軍ヲ迂回セザルヤ否ヤヲ注意シ僅少ナル敵ノ斥候ト雖モ追躡シ來ル者ハ悉ク之ヲ射撃シ其行進ハ後衛ニ伴フベキモノトス又成ルベク路上ニ障害物ヲ設置シ敵ノ行進ヲ遲滯セシムルヤウ計ルベシ本道上ヲ退却スル斥候ニ於テ殊ニ然リトス

第三十三 戦闘斥候

戦闘斥候ハ斥候長ト共ニ三人ヲ常トスレモ時トシテハ人員ヲ増スコトアリ散兵線ト進退ヲ共ニシ側面ノ警戒ニ任ズルモノナレバ危殆ナル方向ハ絶エズ搜索ヲ盡サルベカラズ其動作ハ普通斥候ト大差ナシト雖モ敵ト近接スルニ當リテハ久シク一地點ニ停止シテ敵ヲ監視スルコトアリ又普通斥候ト全ク異ナル點ハ如何ナル敵兵ヲ發見スルモ直チニ之ヲ射撃スルニアリ而テ散兵線敵ニ接近シテ襲歩ニ移ルルハ散兵線ト共ニ突撃ヲ行フベキモノトス

戦闘斥候ハ搜索中敵ノ斥候ヲ發見スルモ敢テ報告スルノ要ナキモノトス而テ敵ノ部隊ニ遭遇スルカ又ハ其來襲ヲ發見シタル片ハ速ニ之ヲ報告スベキモ若シ其猶豫ナキ片ニ於テハ急射撃ヲナシ死力ヲ以テ抗抵シ一人ヲシテ之ヲ急報セシムベシ而テ其報告ハ敢テ所屬隊長ニノミ限ラズ線翼ニアル何レノ隊長ニテモ報告スベキモノトス

戦闘斥候ノ最モ注意スベキハ近隣ノ援隊又ハ豫備隊ニ確實ニ連絡ヲ保チ報告ヲ敏速ナラシムルニアリ故ニ時トシテハ中間ニ連絡兵ヲ殘留スルヲ良トス

歩哨

第一 通則

歩哨ハ休養セル背後ノ本隊ヲ警戒シ其安全ヲ計ルモノナレバ任務重大ニシテ名譽ノ職タル斥候ト相匹適スルニ足ル若シ歩哨ニシテ任務ヲ盡サマランカ啻ニ前哨ノ靜肅ヲ害シ本隊ノ休養ヲ妨グルノミナラズ延ヒテ戦闘ノ不利ヲ來スニ至ルベシ豈慎マザルベケンヤ故ニ歩哨ハ細心注意眼力ノ達スル所耳底ノ感ズル所飛禽走獸ト雖モ其眼耳ヲ掠メテ一步モ線内ヲ窺ハシムベカラズ

第二 前哨ノ任務

哨ハ敵情ヲ搜索シ休養セル本隊ヲ警戒スルヲ以テ任務トス

第三 前哨ノ要旨

前哨任務ノ最モ戒ムベキハ無益ノ戦闘ヲ試ムルヲコレナリ蓋シ無益ノ戦闘ハ宵ニ全軍ノ靜肅ヲ害スルノミナラズ往々前哨ノ抗拒ヲ得ザル大戦ヲ惹起スヲアレバナリ然レモ敵ノ襲撃ニ對シテハ前哨ハ完全ナル戦備ヲ整ヘ全力ヲ殫シテ抗戦セザル可ラズ各級ノ將校ハ常ニ其身ヲ犠牲トシ本隊掩護ノ責任ヲ完クスルヲ忘ル可ラズ

第四 前哨ノ區分

混成前哨ニアリテハ左ノ區分ヲナス

前哨本隊

前哨中隊

前哨騎兵

前哨中隊ハ夜間ニ於テ小哨或ハ獨立下士哨ヲ出シテ警戒ス時トシテハ晝間モ亦之ヲ出スコトアリ

第五 前哨本隊

前哨本隊ハ首要ナル道路ニ接近シ抗戦ニ適スル要點ノ後方ニ在ルヲ可トス常ニ前哨中隊ノ後援ト爲リ敵襲ヲ受クルニ當リテハ

本隊ニ先ンジ抗戦ヲナスモノトス
 前哨本隊ノ兵卒ハ背囊ヲ卸スヲ常トス而テ本隊ノ全部若クハ一部ハ又銃線ノ側ニ在ルベキカ否ヤハ前哨司令官ノ命ケル所トス
 其他ノ動作ハ露營ノ一般規定ニ從フベシ常ニ前哨中隊ヲ配置シテ警戒セシムルモ時トシテハ更ニ外衛兵ヲ配置シテ警戒セシムルコトアリ

第六 前哨中隊

前哨中隊ハ首要ナル警戒線ヲ設ケテ敵ヲ抗拒シ休止ノ軍隊ヲシ

テ戦備ヲナスノ時間ヲ得セシムルヲ以テ任務トス而テ前哨騎兵ノ存在セル場合ニハ前哨中隊ハ其第一ノ後援タルベシ又此中隊ヨリ派遣シタル小哨及ビ獨立下士哨ハ總ベテ右翼ヨリ番號ヲ附スルモノトス

前哨中隊ハ背囊ヲ卸スヲ常トス然レモ其一部ハ常ニ又銃線ノ側ニ在リテ戦備ヲ怠ルベカラズ而テ一人タリモ任務ノ爲メカ又ハ特ニ許可ヲ得ルニ非ザレバ哨所ヲ離ル、ヲ許サズ又此中隊ハ銃前ニ單哨又ハ複哨ヲ配置ス

第七 小哨

小哨ハ普通前哨中隊ヨリ派遣セラル、モノナレトシテハ前衛本隊又ハ前哨本隊ヨリ派遣セラル、トアリ重要ナル道路及ビ地點ノ警備ニ任ズルヲ原則トシ常ニ建制ノ小隊ヲ以テ最前線ニアリテ警戒ヲ擔任ス若シ小哨長ニ充ツベキ士官缺乏シタルハ下士ノ最モ材力アリテ勤務ニ堪ユベキ者ヲ擇ビ之ニ任ズ敵襲ニ當リテハ前哨中隊ニ先ダチ第一ノ抗拒ヲナスベキモノナリ

小哨ハ複哨及ビ下士哨ヲ派遣シテ警戒シ銃前ニ單哨又ハ複哨ヲ配置シ歩哨交代兵斥候巡察諸勤務兵ニ區分ス

小哨ヨリ派遣シタル複哨及ビ下士哨ハ總ベテ右翼ヨリ番號ヲ附

スルモノトス

第八 獨立下士哨

獨立下士哨ハ小哨ノ小ナルモノニシテ小哨ノ連絡側面ノ警戒ヲ補フヲ以テ任務トス普通前哨中隊ヨリ派遣スルモノナレトシテハ前衛本隊又ハ前哨本隊ヨリ派遣セラル下士又ハ上等兵ヲ以テ長トナス而テ其任務及ヒ動作モ亦小哨ト同一ノ原則ニ從フモノナリ又此下士哨ハ複哨ノ交代兵ノ外、斥候ニ充ツベキモノ若干ヲ含有ス

獨立下士哨ハ時トシテ歩哨線前ニ派遣セラル、トアリ此場合ニ

於テハ兵員通常ヨリ多キヲ要ス而テ其動作ハ任務ニヨリテ差異アルモノニシテ或ハ前方ニ派遣シタル騎兵ノ爲メニ橋梁、林縁等ヲ固守シ或ハ夜間敵ノ運動ヲ監視ス故ニ日没ニ至レバ敵ノ地ヲヨリ通ズル道路ノ近傍ニ潜伏シ若シ敵ノ運動我ニ危殆ヲ生ズベシト認メシ片ハ急射撃ヲ行ヒ急報スベシ

第九 下士哨

特別ニ重要ナル地又ハ危殆ナル地又ハ敵方ヨリノ展望等ニヨリ時々ノ交代不便ナル地ニハ必ズ下士哨ヲ用ユ下士哨ハ通常下士(時トシテハ上等兵)一人兵卒六人ヲ以テ編成シ其二人ハ歩哨ト

ナリ自餘ハ交代兵トシテ近傍ノ遮蔽物ニ據リ休止ス而テ其任務ハ歩哨ニ同ジ

第十 查哨

查哨ハ敵ニ通ズル道路ノ附近ニ位置ス其編成ハ下士哨ニ同ジク其任務ハ下士哨ノ任務ニ加ルニ歩哨線ノ出入調査ヲ以テスルノミ

第十一 歩哨ノ守則

歩哨ノ守則ヲ分チテ一般守則及ビ特別守則ノ二トス一般守則ハ何レノ場合ニ於テモ遵守ス可キモノニシテ特別守則ハ守地ニ於テノ任務上必要ナル守則トス

イ 一般守則

歩哨ハ絶エズ敵軍ノ方位ヲ監察シ總ベテ疑ハシキ徴候ニ注意シ
 若シ敵ニ關シテ發見セシトアラバ其一人ハ速ニ小哨若クハ中隊
 ニ報告スベシ但シ猶豫セバ危殆ニ陥ルト認メタル片又ハ敵襲ト
 知リタル片ハ先ヅ數回ノ射撃ヲ爲シテ警報スベシ

晝間ハ我軍ノ將校密集部隊斥候及ビ傳令使ニ限り自由ニ歩哨線
 ノ出入ヲ許スモ其他ノ者ハ悉ク査哨ニ至リテ許可ヲ請ハシムベ
 シ若シ指示シタル査哨ノ方向ニ往カズ強テ歩哨線ヲ通過セント
 スル者及ビ總ベテ其命ニ從ハザル者アレバ歩哨ハ之ヲ射撃スベ

シ

夜間歩哨ニ近寄ル者アレバ歩哨ハ銃ヲ構ヘ「止レ」「誰カ」ト呼ブ
 若シ呼ブト三度ニ及ブモ止マラザル者アレバ射撃スベシ其他ノ
 處置ハ晝間ト異ナルトナシ

敵ノ將校僅少ノ兵卒ヲ率キ白旗或ハ白布ヲ翻シ又ハ號音若クハ
 其他ノ記號ヲ以テ遠方ヨリ軍使タルト標シ來ル時ハ之ヲ待遇
 スルニ敵ヲ以テセズ指示シテ査哨ノ方向ニ往カシムベシ此規則
 ハ敵ノ單獨兵銃ヲ投棄シ又ハ倒ニ携ヘ或ハ遠方ヨリ呼ビテ降參
 人タルト標シ來ル時ニモ適用ス

歩哨ハ命令アルニ非ザレバ坐臥シ又ハ手ヨリ銃ヲ離スヲ許サズ
上官來ルモ敬禮スルヲ要セズ若シ上官ヨリ質問セラル、トアレ
バ姿勢ヲ正シテ答フベシ是レ監視ヲ中止セザランガ爲メナリ

ロ 特別守則

小哨長ハ歩哨ニ左ノ特別守則ヲ授ク但シ記憶ニ便ナラシメン爲
メ番號、前方、側方、後方、及び自己ニ關スル事項ノ五ニ分ツテ常
トス而テ之ヲ唱ヘシムルニハ守地ニ遠キ部分ヲ先ニス但シ後方
ハ自己ニ接近シタルモノヨリスルヲ通規トス

守則 例

一自己ノ番號

一此歩哨ハ前哨第八中隊第二小哨ノ第

一樓哨ニシテ

前方

一敵情

一敵ハ前面約三里ノ白子村附近ニ前哨

ヲ配置ス

一前方ニ出デタル部

一我騎兵ノ一部隊ハ下練馬村附近ニア

隊ノ位置

リ

一監視スベキ地方

一監視區域ハ目ノ及ブ限リ

一目ニ觸ル、村落ノ

一右斜ニ見ユル森ハ瀧ノ川村、前面ニ

名稱

見ユル村落ハ下板橋驛、左斜ニ見ユル村落ハ池袋村、此道路ハ下板橋驛ニ通ズ

側方

一隣歩哨ノ位置番號
一右方約三百米突ノ林縁ニ第一小哨ノ第三複哨アリ

一查哨

一左方約二百米突ニ第二複哨アリ
一其左方約二百米突ノ道路上ニ查哨アリ

後方

一小哨及ビ前哨中隊ノ位置及ビ之ニ通ズル
一小哨ハ此道路上後方約二百米突ノ丁字路ニアリ前哨中隊ハ其後方約三百米突ノ松林ニアリ捷徑ハ此道路トス捷徑

自己ニ關スル事項

一守地及ビ姿勢
一步哨ノ一人ハ此木ノ蔭ニ立チ他ノ一人ハ動哨トナリ右ニ連絡ス
一敵襲ニ對スル進退
一敵襲ニ當リテハ小哨ニ退却スベシ

此外小哨長若クハ歩哨掛ハ各地點ニ於ケル距離及ビ方位ヲ教示

ス然レモ前哨本隊及ビ本隊ノ位置ハ守則中ニ加フルヲ要セズ何
トナレバ小哨ノ兵卒ハ前哨ノ命令ニ依リテ既ニ之ヲ知得スレバ
ナリ

第十二 步哨掛ノ任務及ビ動作

步哨掛ハ步哨ヲ監督シ之ヲシテ守則ヲ誤マリ又ハ忘却セシメザ
ルノ責任ヲ有ス其步哨ヲ配置スルノ手順ハ先ヅ六人ノ步哨ヲ率
キ成ルベク蔭蔽シテ命ゼラレタル任地ニ誘ヒ二名ヲシテ敵方ヲ
監視セシメ假ニ單箇ナル特別守則ヲ與ヘ四名ノ交代兵ト共ニ銃
ヲ執リタルマ、其後方ニ蔭蔽シテ小哨長ノ至ルヲ待ツヘシ若シ

此ノ任地ニ達スルノ點未ダ搜索セザル地域ニ屬シ敵ニ關シテ願
慮スベキトアルハ步哨掛ハ斥候ノ任務ヲ兼ネテ任地ニ至ルベ
シ而テ小哨長來リタル時ハ四名ノ兵ヲモ蔭蔽シテ步哨ノ守地ニ
アラシメ第一ニ立ツベキ複哨ト共ニ特別守則ヲ受ケ步哨ノ一人
ヲシテ之ヲ複唱セシメ終リテ四人ノ交代兵ヲ率キ小哨ニ歸還ス
ベシ但シ下士哨ニアリテハ其後方ニ蔭蔽シテ休憩ス

第十三 步哨ノ任務

步哨ハ敵方ヲ監視シ我軍ヲ警戒スルヲ以テ任務トス敵襲ニ當リ
テハ之ヲ抗拒シ本隊ニ戦闘準備ノ時間ヲ得セシムベシ常ニ守則

ヲ嚴守シ守則ノ爲メニハ一身ヲ犠牲ニスルヲ躊躇スベカラズ

第十四 步哨ノ動作及ビ守地

步哨ノ動作ハ固ヨリ守則ニ從フベシト雖凡一般ニ服膺スベキハ其身ヲ匿シテ敵ヲ發見スルトト無益ノ戦闘ヲ試ミザルトトニアリ上官來ルモ敬禮ヲ要セズ若シ上官ヨリ質問セラル、トアレバ唯姿勢ヲ正シテ之ニ答フベシ是レ監視ヲ中止セザランガ爲メナリ而テ監視ハ常ニ展望ヲ第一トシ其身ヲ遮蔽スルトハ第二ニ置クベキモノナレ凡晝間ニ於テハ少シク展望ニ妨害アルモ猶ホ敵眼ヲ遮蔽スベキトナキニシモアラズ步哨ノ守地ハ陰蔽物ノ外縁

ヨリ稍後方ニ位置スルヲ良トス又陰蔽ニ困難ナル所ハ附近ノ樹枝等ヲ以テ其前面ヲ掩フト必要ナリ而テ常ニ銃ヲ裝填シ手ヨリ離ストナク夜間ハ着劍シ猥リニ坐臥スルヲ許サズ若シ報告ノ爲メ一人背後ニ赴ク所ハ他ノ一人ハ必ズ守地ニアラザルベカラズ又銃前哨ト目視ヲ以テ連絡シ得ベキ場合ニ於テハ敵ニ關スル報告ハ成シ得ル限り記號ヲ以テスベキモノトス

步哨ハ夜間ニ於テモ小哨ニ達スル通路ヲ迷失セザルヤウ豫メ暗記スルヲ要ス又晝間ニ於テ目撃シ易キ物體又ハ地物ノ方位ヲ撰定シ夜間方位ヲ取ルノ用ニ供スベシ

第十五 銃前哨ノ位置及ビ任務

銃前哨ハ直接ニ小哨ヲ警戒シ歩哨線及ビ之ニ通ズル土地ヲ監視シ前方ノ歩哨ト連絡スルモノナリ故ニ成ルベク樹木ニ登ル等ノ手段ニヨリテ目視ヲ以テ歩哨ト連絡シ敵ニ關スル報告ハ歩哨ノ記號ヲ以テ通ズルヲ得セシムベシ而テ上官來ルモ敬禮セズ又執銃ヲ呼ブヲナシ夜間小哨ニ近附ク者アレバ之ヲ誰何シ歩哨線ニ於テ疑ハシキ事アレバ直チニ之ヲ小哨長ニ報告ス又敵襲ニ當リテハ「氣ヲ付ケ」ト呼ブベシ故ニ其任地ハ小哨ニ接シ晝間ハ歩哨線ヲ展望シ得、夜間ハ音響ヲ聽取シ得ルニ便利ナル地點ヲ撰

ブベシ

銃前哨ハ單哨ヲ通常トスレモ小哨掩蔽下ニ入ルル又ハ地形上必要ナル所ハ複哨トナスコアリ

第十六 歩哨ノ交代

歩哨ノ交代ハ隱蔽シテ行フモノニシテ其法ニ二種アリ一ハ二人同時ニ交代スルモノニシテ一ハ一人毎ニ交代スルモノトス後法ニアリテハ新ニ來ルモノハ一人ニシテ他ノ一人ハ從前ヨリ守地ニアルモノナレバ百事ニ就キテ前法ニ優ルモノナリ交代時間ハ小哨長ノ規定スルモノナレモ一時間ヲ通常トス其手順ハ新舊兩

兵共ニ敵ニ面シテ並列シ舊步哨ノ一人ハ特別守則ト其實見及傳聞シタル事件トテ新步哨ニ低聲傳告シ新步哨ノ一人ハ之ヲ複唱スルモノトス但シ交代ノ際ニハ必ず步哨掛ノ監視ヲ受クベシ而テ步哨掛ハ同一歩哨第二回目ノ交代ヨリハ特別守則ノ一部ヲ試問シテ能ク記憶シアルヤ否ヤヲ確ムルヲ以テ足レリトス

第十七 步哨ト斥候トノ關係

步哨ハ斥候ノ背後ヨリ來ルヲ見レバ先ヅ低聲又ハ其他ノ合圖ヲ以テ自己ノ所在ヲ知ラシメ自己ノ見聞シタル敵情ヲ傳告スルノ義務アルモノナリ夜間ニ於テハ特ニ然リトス而テ斥候歸還シタ

ル片ハ更ニ敵情ヲ聽取スベシ若シ其斥候他ノ小哨ヨリ出デタルモノナル片ハ傳聞シタルトテ小哨長ニ報告スベシ

第十八 步哨ト刑法トノ關係

步哨若シ職務ヲ怠慢ニ附スル片ハ左ノ刑法ニ照シ處分セラルベシ其任務重ク名譽ノ大ナル蓋シ偶然ニ非ラザルナリ

一哨兵擅ニ其守地ヲ離ル、者敵前ニ在リテハ死刑ニ處ス

一哨兵睡眠若クハ酩酊シテ事ヲ省セザル者敵前ニ在リテハ二年

以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第十九 步哨ノ報告

歩哨報告ハ斥候ノ報告ニ準ズ但シ今後ノ處置ノ一項ハ不用ナリ
左ニ例ヲ舉グ

第三複哨報告、只今敵ノ歩兵斥候三名池袋村東南端ニ顯レ新井
村方向ヘ行進セリ

第二複哨報告、池袋村ノ方向ニ當リ車聲ヲ聞ク想フニ敵ノ砲車
ナラン且ツ池袋村西端ニ二發ノ銃聲ヲ聞ク

右ノ如ク斥候ノ報告ニ比シテ概シテ單箇ナリトス而シテ報告ス
ベキ要目ハ左ノ如シ

敵兵發見

怪ムベキ徴候

前哨線前ニ於テ敵軍或ハ友軍ヲ發見シタル片

多數ノ降參人

他ノ小哨ヨリ派遣セラレタル斥候ヨリ傳聞セシ件等

第二十 動 哨

動哨トハ複哨ノ別名ニシテ常ニ行動シテ歩哨間ヲ警戒シ隣歩哨
ノ安否ヲ確メ又ハ敵情ノ交換ヲナシテ連絡ヲ確實ナラシムルモ
ノナリ展望自在ナラザル場合又ハ夜間ニ於テ守則ニ依リテナス
ベキモノトス而テ右ニ連絡セヨト命セラレタル場合ニハ右ノ隣

歩哨ニ連絡シ左ニ連絡セヨト命セラレタル場合ニハ左ノ隣歩哨ニ連絡スルモノナリ勉メテ敵ニ發見セラレザルヤウ歩哨線内部ニ沿行シテ更ニ源位ニ復歸シ交番行動ノ中絶アラシムベカラズ

第廿一 歩哨ノ軍使ニ對スル處置

敵ノ將校僅少ナル兵ヲ率キ白旗或ハ白布ヲ翻シ又ハ號音其他ノ記號ヲ以テ軍使タルヲ標シ來ル時ハ遇スルニ敵ヲ以テセズ指示シテ查哨ノ方向ニ行カシムベシ查哨ノ歩哨ハ「止レ」ト呼ビテ歩哨線前ニ留メ敵方ニ面セシメ音聲ヲ以テ之ヲ查哨長ニ報告ス查哨長ハ一二人ノ護衛兵ヲシテ其目ヲ縛サシメ軍使タル將校

ノミヲ導キテ小哨ニ送附ス此間決シテ言語ヲ交ユベカラズ何トナレバ秘密ヲ聽取セラル、ノ恐アレバナリ而テ軍使ノ從卒ノ處置ハ小哨長ノ指揮ニ依ルベシ但シ軍使乘馬ノ時ハ勿論下馬セシムルモノトス

第廿二 歩哨ノ降參兵ニ對スル處置

僅少ナル敵兵遠方ヨリ白旗或ハ白布ヲ翻ヘシ又ハ銃ヲ逆マニシ又ハ他ノ方法ヲ以テ降參兵タルヲ標シ來ル時ハ「止レ」「誰カ」ト呼ビ其果シテ降參兵タルヲ認知シタル片ハ命ジテ武器ヲ去ラシメ(騎兵ナレバ腹帶ヲモ脱セシメ)指示シテ查哨ノ方向ニ行カ

シムベシ(此武器ハ交代終リタルル小哨ニ携行スベシ)若シ降參兵查哨ノ方向ニ行カザルカ又ハ逃走セントスル有様アレバ直チニ之ヲ射撃スベシ故ニ成ルベク一人ハ之ヲ目送スルヲ要ス而テ地形蔭蔽ノ時ハ若干距離歩哨線ニ沿行シテ其動作ヲ窺フベシ查哨ノ歩哨ハ「止レ」「誰カ」ト呼ビ其果シテ降參兵タルヲ認知シタルルハ歩哨線ニ近ク前進セシメ音聲ヲ以テ之ヲ查哨長ニ報告ス查哨長ハ交代兵ヲシテ之ヲ小哨ニ送附セシム此間決シテ言語ヲ交ユ可カラズ

降參人多數ナルルハ歩哨ハ成ルベク遠方ニ之ヲ止メ武器ヲ脱セ

シメ查哨ノ歩哨ハ查哨長ニ報告シ查哨長ハ更ニ小哨長ニ報告ス小哨長ハ若干ノ兵ヲ出シテ前記ノ所置ヲナサシム

第二十三 歩哨ノ監視法

歩哨ハ細心注意シテ些少ノ音響徴候タリトモ決シテ等閑ニ附スベカラズ附近ノ家屋或ハ樹上ニ登リテ監視スルモ亦一ノ方便タルベシ然レモ何レノ場合ニ於テモ複哨ノ一人ハ必ず守地ニアラザルベカラズ要スルニ晝間ハ眼ト耳トニヨリ夜間ハ耳ノミニヨリテ能ク疑ハシキ事ニ注意スベシ

第廿四 歩哨ノ敵ニ對スル動作

敵ノ斥候顯出セシ時ハ步哨ノ一人ハ直チニ之ヲ報告シ他ノ一人ハ更ニ身ヲ潜匿シテ其動靜ヲ窺フベシ彼若シ我步哨線ヲ發見セシト認メタルハ直ニ之ヲ射撃シ決シテ報告ニ歸還セシムベカラザレモ彼未ダ我ヲ發見セズ前進シ來ルハ射撃ノ準備ヲナシ充分近距離ニ近寄ルヲ待チテ射撃(成ルベクハ捕獲)シ之ヲ小哨ニ報告スベシ

敵ノ部隊襲撃シ來リ報告スルノ違ナキハ急射撃ヲ以テ報告ニ代ヘ一人ハ速ニ小哨ニ報告スベシ此場合ニ於テハ小哨ノ近傍ニ達スルヤ第何復哨ヨリ敵襲ト大呼シ小哨ニ達シテ後精密ナル報

告ヲナスベシ他ノ一人ハ小哨ノ射撃面ヲ避ケツ、漸次小哨ニ退却スベシ然モ守地抗拒線ナルハ故ナク一步モ退クベカラズ敵ノ斥候我步哨ノ位置ヲ知ラン爲メ我ニ向ヒテ試射ヲ爲スアリ夜間ニ於テ殊ニ然リトス此時決シテ應射スベカラズ步哨ノ最モ注意スベキハ報告ノ際ニアリ何トナレバ監視ノ際ハ常ニ遮蔽シアルヲ以テ敵ニ發見セラル、トナシト雖モ報告ニ赴カントスルヤ前後ノ思慮ナク地物ヨリ離ル、ト多キヲ以テ此際却ツテ敵ニ發見セラルレバナリ而テ敵ノ斥候ハ常ニ是等ノ場合ニ於テ步哨ノ位置ヲ知ラント注意スルモノトス

歩哨敵襲ニ遇フテ退却スル片ハ成ルベク射撃シツ、小哨ノ正面ヲ避ケテ退却スベシ是レ小哨ノ射撃ヲ妨ゲザル爲メト敵ハ多ク退却スル歩哨ニ跟随シテ小哨ヲ襲フモノナレバナリ

歩哨ノ射撃スベキ場合ハ左ノ如シ而テ射撃シタル片ハ直チニ一人ハ其理由ヲ報告スベシ

一敵ノ斥候自己ニ近付キタル片但シ成ルベクハ捕獲又ハ殺傷スベシ夜間ニ於テハ殊ニ容易ナリ

一敵襲ニ當リ報告ノ遅ナキ片 但シ一人ハ直チニ小哨ニ報告スベシ

一自己ノ危害ヲ防衛スル片

一敵ノ斥候我歩哨線ヲ發見シテ報告セントスル片

一降參人逃亡セントスル片

一誰何スルモ答ヘザル者アル片

隣歩哨ノ位置ニ當リ銃聲又ハ怪シムベキ音響アラバ一人ハ直チニ走リテ其原因ヲ探究スベシ

第廿五 問查法

暗號ハ常ニ用ユルモノニアラズ城塞戰又ハ永ク一地ニ敵ト對スル時ニ高等指揮官ノ嗜好ニヨリ用ユルモノトス而テ暗號ヲ與ヘ

ヲレタル片ハ夜間自己ニ接近スル者アレバ歩哨ハ銃ヲ構ヘ「止レ」ト呼ビ其者停止セバ「誰カ」ト呼ブ其者某官又ハ巡察ト答フレバ更ニ「暗號ニ」「進メ」ト呼ブ若シ數人ナル片ハ其一人ノミヲ進マシメ之ニ問查ス其者進ミテ暗號ヲ唱フレバ歩哨ハ能ク之ヲ聽取シ疑フベキ所ナケレバ通過ヲ許スベシ但シ答號アレバ答號ヲ與フルモノトス而テ此問答ハ固ヨリ低聲ヲ用ユベシト雖モ決シテ彼ヲシテ歩哨ノ銃劍ニ觸ルルマデ接近セシムベカラズ又暗號ヲ知ラザルモ敵ニ非ザルヲ判然タル片ハ查哨ノ方向ニ赴カシムベシ然レモ「止レ」ト呼ブ一三回ナルモ猶ホ行進スルカ又ハ遁

逃セントスルカ又ハ指示シタル查哨ノ方向ニ赴カザル者アラバ之ヲ射撃スベシ

普通ノ前哨ニ於テモ夜間彼我識別ノ爲メ巡察及ビ歩哨交代兵等ハ豫定ノ記號(銃把ヲ叩キ又ハ低聲ノ口笛ヲ吹ク等)ヲ定メ置クヲ要ス然レモ何官巡察又ハ何官歩哨交代等ノ語ヲ以テスレバ別ニ問查ヲ要セザルヲアリ何トナレバ歩哨ハ其中隊ニ屬スル將校下士及ビ上等兵ノ姓名及音聲ヲ聞ケバ其何人タルカヲ辨別シ得レバナリ而テ何レノ場合ヲ問ハズ疑フベキ形跡アルトキハ嚴密ニ調査スルヲ要ス

第廿六 巡察

巡察ハ通常長ト共ニ二人ニシテ小哨又ハ前哨中隊又時トシテハ前哨本隊ヨリ派遣スルモノトス常ニ步哨線ニ沿ヒ蔭蔽シテ行進シ步哨ノ備ナキ地ヲ搜索シ隣接シタル小哨獨立下士哨トノ連絡ヲ確實ニス又職務怠慢ノ步哨ハ巡察之ヲ交代セシムベシ又其守地ニ步哨ナキヲ發見シタルトキハ巡察ノ一人假リニ止リテ步哨トナルベシ但シ何レノ場合ニ於テモ小哨長ニ報告スルヲ要ス又各步哨間ノ間隔甚ダ遠隔シ且ツ地形展望ニ不便ナルルハ巡察ハ其中間ノ地形ヲ探究シ敵ノ步哨線ノ潛行通過スルヲ妨止セザル

ベカラズ若シ步哨線内ニ於テ敵ヲ發見シタルルハ直チニ之ヲ射撃シ（成ルベクハ捕獲スルヲ良トス）レ暗夜等ニ於テハ遁逃セラル、ノ恐アリ）一人ハ去リテ其理由ヲ報告シ他ハ猶ホ止マリテ注視潛聽スベシ又巡察ハ步哨線内ニ於テ射撃又ハ搔擾又ハ怪シキ音聲ヲ聞キタルルハ直チニ派遣スヘシ此時ニ當テハ左ノ目的ヲ有スルモノトス

敵襲ヲ蒙リタル步哨ヲ援助ス

源因ヲ探究シ迅速ニ小哨長ニ報告ス

敵ノ急襲ヲ防止シ小哨ニ戦闘準備ノ時間ヲ與フ

第廿七 小哨及ビ獨立下士哨ノ又銃法

又銃ハ哨所ノ抵抗線ニ平行シテ一線ニ組ムモノトス右翼ヨリ歩哨斥候巡察諸勤務兵ノ順序ニ從ヒ又銃シ休憩兵ハ其背後ニ休憩スヘシ而テ諸勤務兵ヲ除クノ外ハ皆同時間ニ交代スルモノニシテ又銃ハ他ノ者ニ關セズ銃ヲ解クヲ得ヘキヤウニナスベシ但シ時機ニヨリ假銃架ヲ設クルヲアリ左ニ步哨ノ二種ノ交代法ヲ圖解ス然レモ是レ單ニ要務令ノ同時ニ交代スベキ者ヲ一團トシ他ノ者ニ關セズ銃ヲ解カシムル又銃法ノ數例ヲ示シタルニ過ギズ又銃前哨ノミハ常ニ假銃架ヲ用ユルヲ便トス何トナレハ守地

近ク他ノ步哨ニ比シテ速ニ交代ヲ終リ休憩スルモノナレバナリ

XXXXX
 才一化候
 才二化候
 才三化候
 才四化候
 才五化候

諸物等共ニ妨ケナシ
 又印ハ單簡ノ假銃
 架シテ左ノ如シ

XXXXX
 才一巡察
 才二巡察

上全下以
 上全下以
 上全下以



合場ルス代交ニ時同人ニノ哨複

(哨複三)

才五回
 才四回
 才三回
 才二回
 不在

(哨複二)

才三回
 才二回
 不在

合場ルス代交ニ時同人ニノ哨複

(哨複三)

才五回
 才四回
 才三回
 才二回
 不在

(哨複二)

才三回
 才二回
 不在

(例一ルス銃ニ共ト哨前銃上全)

銃才三回
 銃才二回
 不在

假銃架
 銃前哨
 全六三四

銃前哨

銃前哨

銃前哨

第廿八 小哨休憩中兵卒ノ動作

小哨ノ兵卒ハ休憩中ト雖モ最前線ニアルコトヲ忘ルベカラズ故ニ小哨長ノ命ニヨリ背囊ヲ脱スルモ彈藥盒帶革及ビ水筒ハ常ニ身體ニ纏ヒ自己ノ又銃ノ後方、示サレタル點ニ極メテ靜肅ニ休憩スベシ上官來ルモ敬禮セズ若シ問ハル、コトアレバ姿勢ヲ正シテ答フベシ任務ノ爲メカ又ハ小哨長ノ許可ヲ得ルニ非ラザレバ決シテ小哨ヲ離ル、ベカラズ夜間ハ小哨長ノ命ニヨリ一部ノ假眠ヲ許スモ警報ニ接セバ直チニ又銃線ニ集リテ小哨長ノ命令ヲ待ツベシ

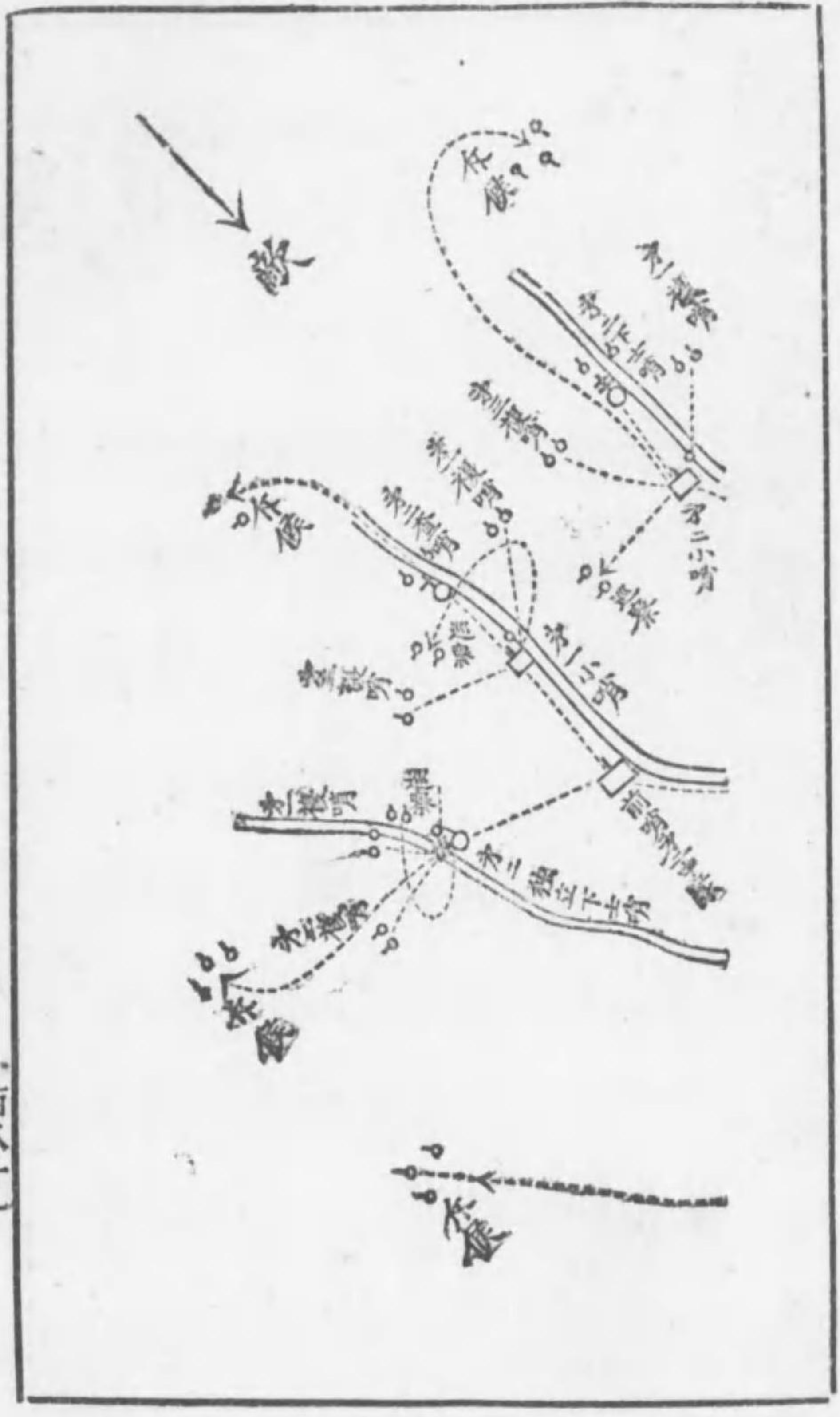
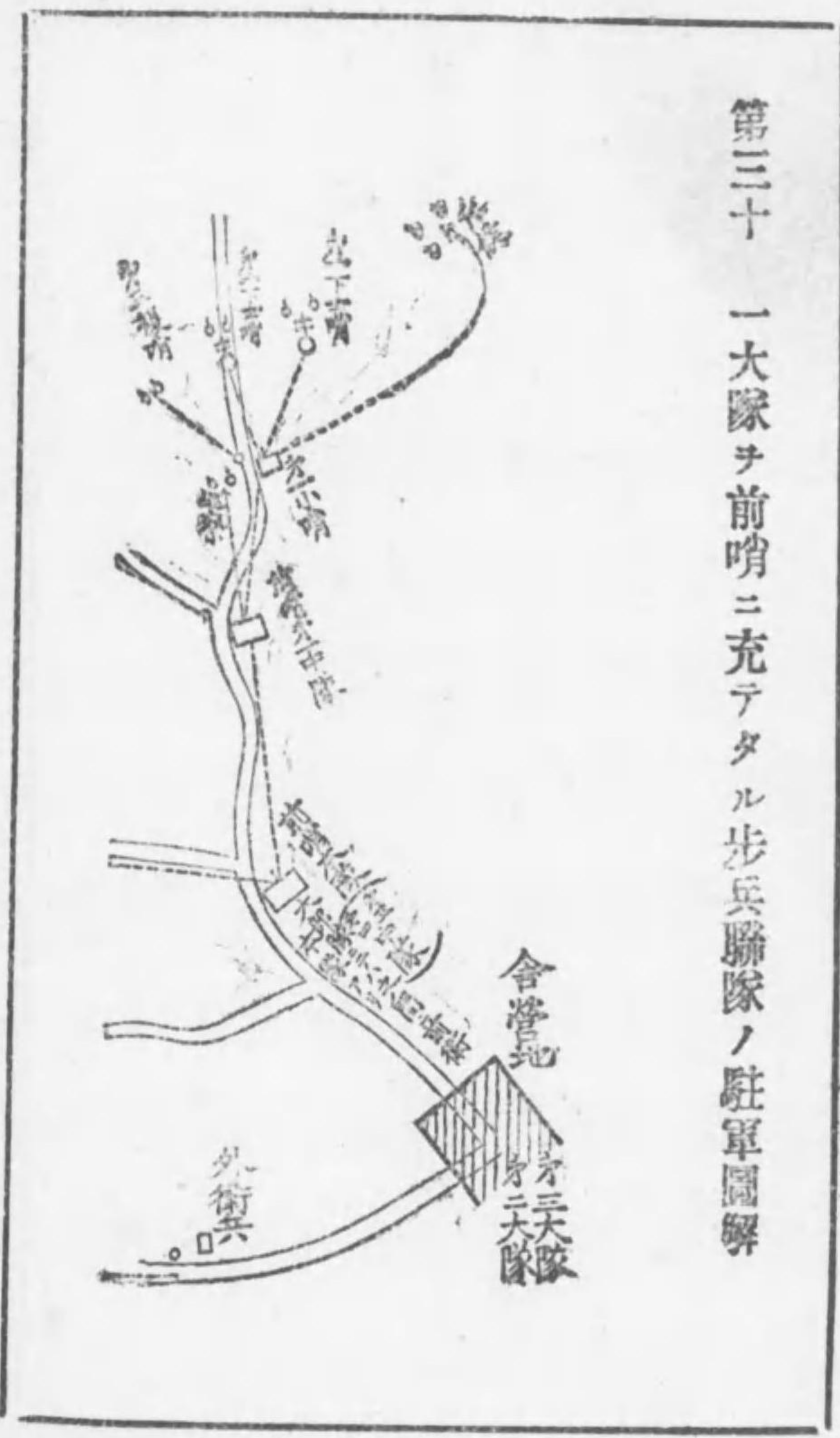
第廿九 小哨ニアル故參幹部及ビ下士

哨長ノ任務上注意

小哨ニアル故參幹部ハ小哨長ヲ補佐スルモノナリ小哨長ハ小哨ノ位置ヲ規定スルヤ必要ナル命令ヲ下シテ步哨線ニ赴クヲ以テ故參幹部ハ此ノ命令ニ從ヒ又銃ノ規定、工作ノ指揮、飲水ノ檢査、圍廁ノ設置、露營材料ノ聚集等總ベテ休養上ノ顧慮ヲスベシ不意ノ敵襲ニ當リテハ小哨長ニ代リテ防禦ヲナサルベカラザレハ決シテ小哨ヲ離ルベカラズ而テ小哨長歸着セハ其不在中ノ事件ヲ詳細報告スベシ

下士哨長ハ二名ノ步哨ヲ配布シ單箇ナル假守則テ與ハ他ノ交代
兵ト共ニ銃ヲ取リタルマ、蔭蔽シテ休憩シ小哨長ノ至ルヲ待ツ
ベシ其他ノ動作ハ步哨掛ニ同シ而テ步哨守則ノ複唱ヲ終レバ敵
襲ニ應ズル動作ヲ豫行シ步哨ノ後方近距離ニ蔭蔽シテ休憩ス又
豫メ敵襲ニ當リ退却スルルキハ何レヨリスヘキカヲ探究シ置クベ
シ

第三十 一大隊ヲ前哨ニ充テタル歩兵聯隊ノ駐軍圖解





步兵斥候步哨勤務教練終

明治三十年十月二十五日印刷 (步兵斥候步哨勤務教練具付)

明治三十年十一月一日發行

明治卅三年二月十五日訂正再版印刷

明治三十三年三月五日發行

陸軍省御用圖書發行所

發行兼印刷者 相澤富藏

東京市京橋區南傳馬町
壹丁目壹番地

印刷所 國文社

東京市京橋區宗十郎町
十五番地

發行所 厚生堂

東京市京橋區南傳馬町
壹丁目壹番地
電話本局八三八番
發售處號(ア〇三)

著作權所有

